ISBN4-8470-2064-2 C0076 ¥980E 発行ワニブックス 定価980円

# YUMA DICTIONARY

photo by SEITARO SHIMIZU

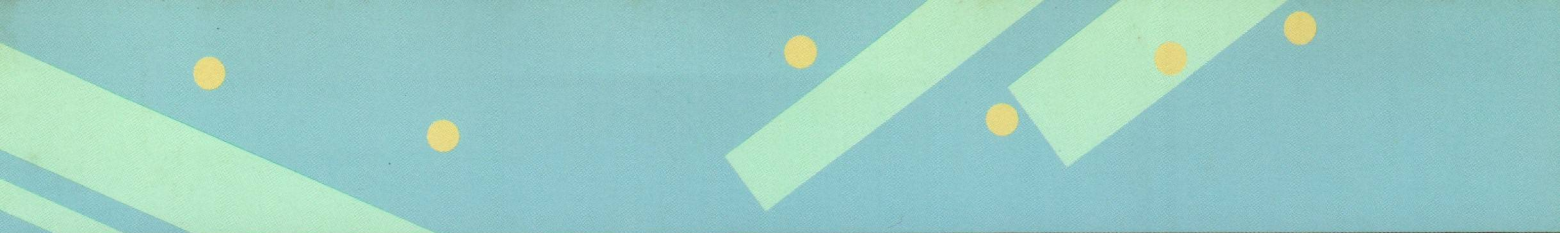
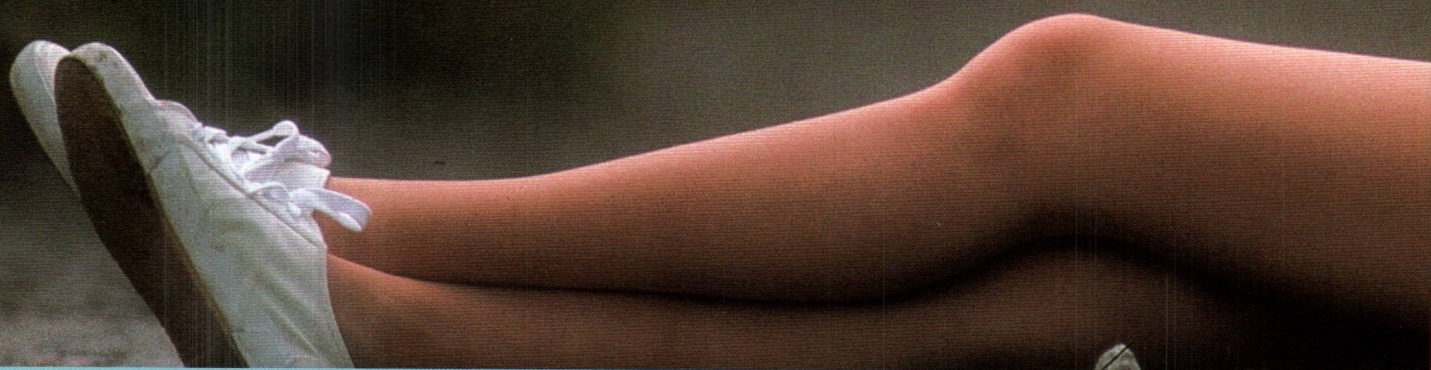
# 中村由真

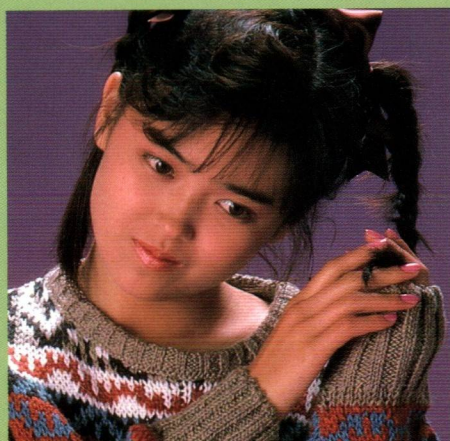
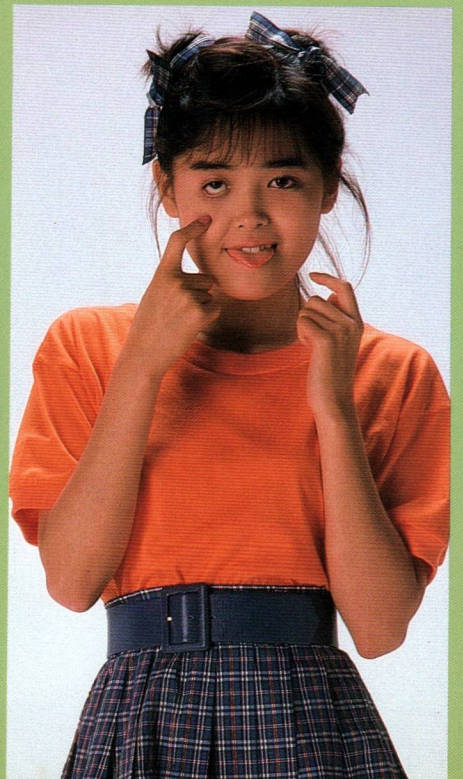
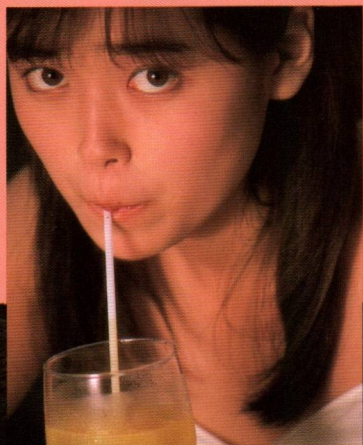
# Y U M A ・ D I C T I O N A R Y

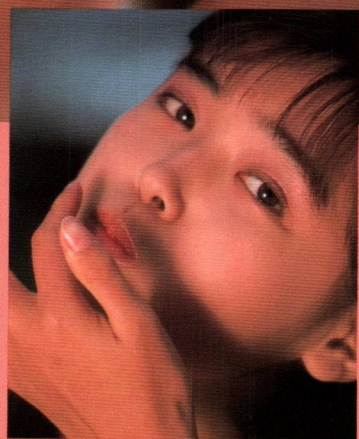
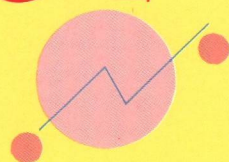
## 中村由真 フォト&エッセイ


| | |
|---|---|
| ESSAYIST | YUMA NAKAMURA |
| PHOTOGRAPHER | SEITARO SHIMIZU |
| | KENJI SEKINE |
| EDITORIAL THANKS | MIHOKO TETSUISHI(STAFF ON) |
| HAIR & MAKE | YUKO HASHIMOTO |
| STYLIST | TOMOKO MATSUO |
| | NORIKO TAKUMA |
| PHOTO ASSIST | KAZUMI FUKUSHI |
| MANAGEMENT | TAKAHIRO SAITO |
| | MASANORI HOSHI |
| DESIGN | MITSUE WASHIZU(TABASCO STUDIO) |

1987年 10月10日 初版発行

発行者・横内正昭
発行所・株式会社ワニブックス
〒160 東京都新宿区四谷2丁目12番地
☎03(356)9081(代表)
振替・東京6-157086
印刷所・凸版印刷株式会社
Printed in Japan 1987
ISBN4-8470-2064-2

自然が好きな人でいてね。
だって
夢のデートは街じゃなくて草原で……。
飾らない私を見て欲しいんだもん。
素直な私を、
あなただけに感じて欲しいんだもん……。

ヘン！　絶対にヘン。
ホントはニコッて笑いたいの。
とびっきりの笑顔でね。
でも、やっぱり、どうしても……ダメ。
あなたの前だと、
笑顔よりもココロが先に動いちゃう。
由真のフ・ク・ザ・ツSMILE
レインボウ・カラーのFACE LANGUAGE

言葉じゃない、
仕草じゃない……。

ときどき
ドキドキするの。

# FACE LANGUAGE

あ・と・が・き
# POST SCRIPT

「由真のエッセイ集を作ろう！」
編集スタッフの中で、そんな企画が出た時、まず第一番に浮かんだ言葉は、
「新鮮！」
　中村由真ちゃんていう女の子は、髪の毛がサラサラで、ツンとした鼻がチャーミングで、笑うとピョコンとうさぎのようにみえる歯がとってもキュート…そんなイメージしか、まだなかったからです。もちろん、『スケバン刑事』でみせる、あのキリリとした瞳のことは知ってたけれど……ね。それでも、まだまだ彼女のイメージは、〝3つ隣りのクラスの、気になってしょうがない女の子〟止まりだったわけです。要するに、簡単には近づけない。ごく自然に知り合うチャンスもない。それでも、なんだかすごく前からの友だちだったような大切な人だったような…。
　このたくさんの不思議イメージの《答え》を、ありったけの言葉でひとつずつひとつずつ原稿用紙の中の《キミ》にむかって、語りかけていきました。ドラマの撮影のため、その大半は、撮影の待ち時間を利用してスタジオの隅っこで、ときにはお昼休みの喫茶店で。彼女の中のもうひとりの〝中村由真〟と、まるで相談でもしているかのように、ポツンとつぶやいたりためらいのため息をもらしながらも、
「今の私を、これですべてわかってもらえたら……とっても、嬉しいんだもんっ」
　あっけらかんとなんでも話せてしまう女の子が多い中で、これだけ正直に一生懸命に自分を伝えようとしている彼女の姿をみて、極上の〝新鮮〟を感じないわけは、ありません。
　弟や妹のことを書いている時、由真ちゃんの頬をポロポロと涙がこぼれていったこと、それでも、《キミ》に向かって語りかけていた由真ちゃんが、大好きです。もちろん、《キミ》も……そう感じてるに決まってるよね。

NAKAMURA・YUMA

## PROFILE

NAME●中村由真
BIRTHDAY●1970年2月16日
HOROSCOPE●みずがめ座
BLOOD TYPE●B型
STATURE●162cm
WEIGHT●45kg
3 SIZE●B80・W58・H83
SHOES●23cm
▶FAVORITE◀
FOODS●鳥のから揚げ、梅干し
SPORTS●バトミントン
GAME●ビリヤード
MUSICIANS●浜田省吾
渡辺美里
MOVIE●TOP GUN
BOYS●ちょっとクール。でも、
話をしてみると…とって
もおもしろい人！

中村由真ファンクラブではメンバーを募集しています。入会ご希望の方は、氏名・住所・学年・年令・郵便番号・電話番号を記入の上、入会金¥500、年会費¥2,500を現金書留で同封して送ってね。

**特　典**

会員証の発行、バッチ、レターセット、サイン色紙、会報誌(年4回)、号外報の発送、その他。

お申込み先

**IVS音楽出版内　中村由真ファンクラブ**

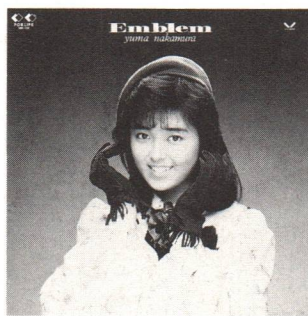
〒150 東京都渋谷区円山町28-4大場ビルB館
TEL. 03-770-1260

♥ファンレターのあて先も上の住所でね！

# YUMA'S DISCOGRAPHY

デビュー曲から最新アルバムまで、由真のエピソードを織り混ぜながら、ここでご紹介しますねっ。

## ジレンマ
**S62年1月1日発売**

新人さんのデビュー曲って、フワフワ明るい歌だと思ってたから、いきなしすごい曲でビックリしましたねぇ。レコーディングも大変だった。どうしてもサビの部分をはずしちゃうから、何回もやり直して。もう涙出てきちゃって…個室で1時間くらいひとりでカセット聴いて〝よーし〟と思ってやり直したら上手くいったんですよねぇ。ホント、すーごい気合い入ってたなぁ、あの時は。曲名通りジレンマしちゃいましたヨ。

## Emblem（LP）
**S62年3月21日発売**

アップ・テンポの曲から、ミディアム調の可愛い曲まで、いろんなタイプの歌がそろっていて楽しかったのが、このファーストアルバムです。時期的には、あの「シビアー」のレコーディングと重なってたから、ちょっと大変なものがあったけれど……うん、初めてのＬＰにしては、自分自身なかなか納得です。

でも、１枚ＬＰを作ってると、本当に歌の難しさがわかりますね。反省点はいっぱいあるもん。

## シビアー
**S62年4月29日発売**

レコーディングも2回目。少しは上手くいくかなぁ…なんて思ってたら、これが大変！　もう、いちばん苦労したんですよね。メロディラインがすごく難しくて、何度も何度も録り直したのです。で、やっと終わったぁ…と思ったら、もう一回歌ってみてくれってディレクターさん。サビの部分が、どうしてもどうしても自分の中で納得できなくて、それから何度も録り直したんですよね。ホントにシビアーだったな。ん？

## スケバン刑事(デカ)Ⅲ 少女忍法帖伝奇
**S62年5月21日発売**

出ましたねぇ、ありましたねぇ。風間三姉妹のサウンド・トラック盤。主題歌や挿入歌だけでなく、セリフなんかも入ってるんですよね。これも、『スケバン刑事』の想い出のひとつになりそうだなぁ。

それにしても、やっぱりドラマがらみの曲はアップ・テンポのものが多いと思いませんか？　アクションシーンやハードなストーリーから考えれば、可愛いっぽい曲はちょっと……ね。盛り上がりに欠けるもんネ。



## パニック
**S62年7月22日発売**

これは、完璧！　5回くらい歌って、即ＯＫだったんですョ。歌いやすかったこともあるけど、自分の中ではＥＰ3曲中いちばんのお気に入りです。詞も好きだし。歌の中に出てくる女の子は、ちょっと素直になれない子っぽくて、自分に合ってるなぁ、この女の子の気持ちわかるなぁ…なんて思ってたりしてね、フフ。「ジレンマ」「シビアー」「パニック」は3曲とも、「スケバン刑事」の挿入歌でもあったんですよねっ。

## GOLD RUSH
**S62年10月21日発売**

〝Ａ〟のコーナーでも、さっそくお話したとーり、由真のセカンド・アルバムがコレ！　エヘへ、どーですか？　なんて言っても、ジャケットを見ただけじゃわかりませんよねっ。あー、早くあなたに聴いてもらいたい！　だって、今いちばんの私からのおすすめ作品なんだもん。ロック、ポップス、そして素敵なバラードまで。バラエティに富んだサウンドに、今の私のありったけのココロをのせて、私のために歌いました…。

# ZOOM UP!

[zu:m-ʌp]

16歳の私って、とってもフクザツだった。

夏休み前までは、ほんとに普通の高校生で、夏休みが始まって、トレーニングに入ってから、ガラリとまわりが変わっていったの。ものすごいスピードで…。毎日、いろんなこと覚えて勉強して、大変だったけど充実してた。

だって、私の子供のころからの夢に、確実に一歩一歩近づいていってたんだもの。

〝大きくなったら、ピンクレディーやキャンディーズみたいな歌手になりたいです。

中村由真〞

レコードデビューしたことや、初めてあなたの前で自分の歌をうたったこと。17歳のバースデーをお祝いしてもらったこと…。本当に短い時間の中で、悩んだことも辛かったこともあったけど、あなたに見守られながら、私、がんばってきたみたい…。

レターのお返事、書けなくてゴメンなさい。それに、キャンペーンも…。由真の行ってない街がないくらい、あちこちを巡わってみたい！　もっともっと、本当の私を目の前でみて欲しいんだもの。今までやりたくても出来なかったことを、これから少しずつでも、マイペースでやっていきたい私です。

もちろん、17歳のひとりの女の子としても、私なりに17歳ぽいこと、楽しんでいきたい。遊べる時は遊んで…それに、今までよりもっともっと友だちを大切にしていきたい。

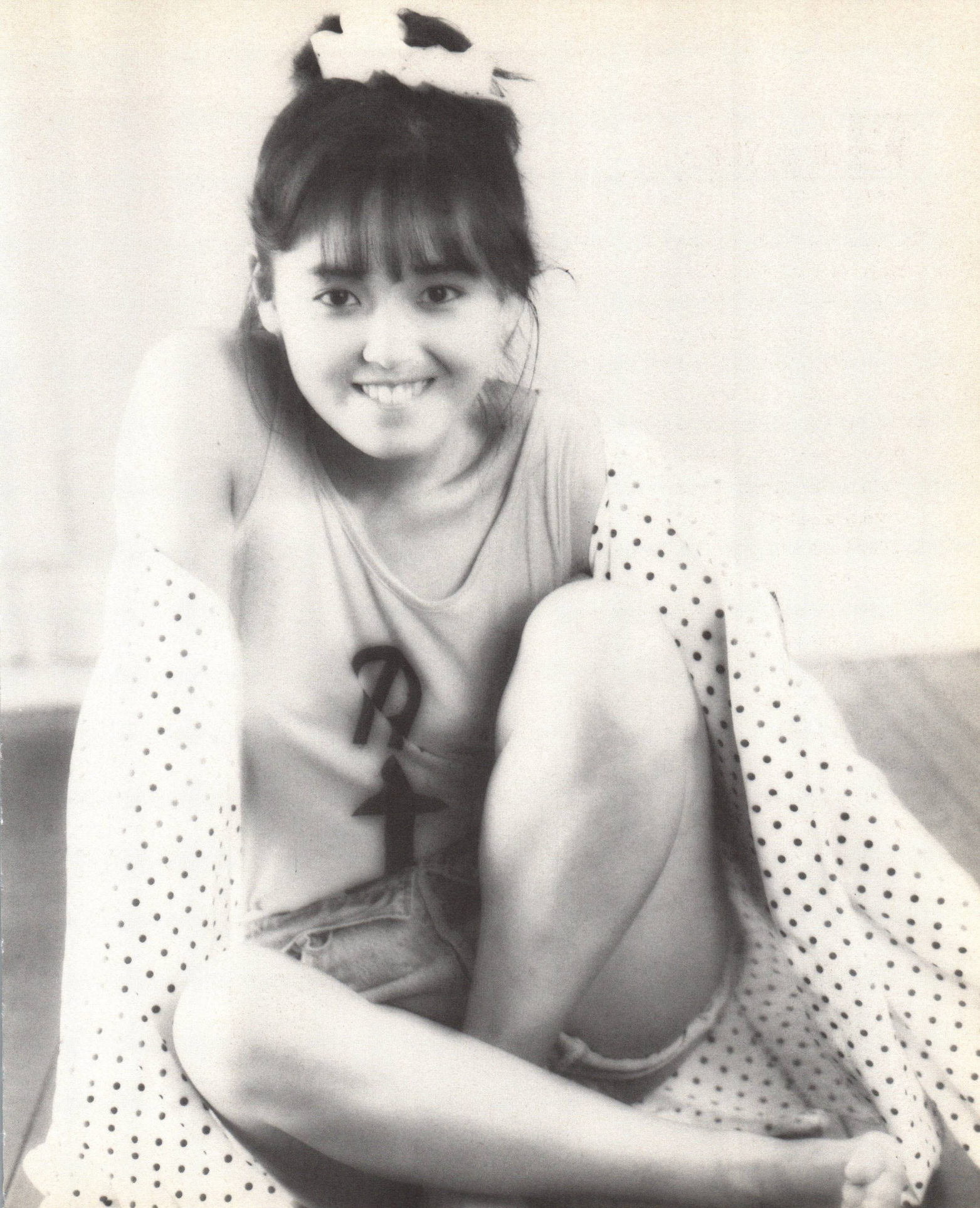
私、たぶん18歳になっても19歳になっても、変わってないと思うよ。17歳だからコレしたいとか、18歳になったらこんなことしたい…なんて思わないもん。

ずーっと、このまんまっ。

こんなにいろんなこと、お話したのは初めてだなぁ。けっこう…恥ずかしいっ。17年間の由真を、ぜんぶ話してるんだから…そりゃそうだもんっ。

あのね、今、もうひとつ夢があるの。

〝大きくなったら、中村由真ちゃんみたいな歌手になりたいです〞

子供のころの私と同じように歌手を夢みてる女の子から、こんなふうに思ってもらえるような…そんな歌手に、由真はなりたいです。

## YUI & YUKA

[yui and yuka]

では、ここでもう一度《ＩＦシリーズ》の質問です。いきなりですが、さっそくいってみましょー。

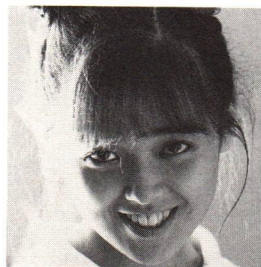
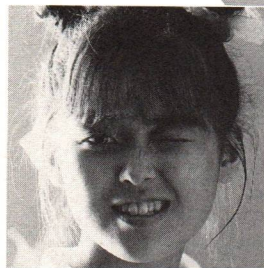
㊮・唯、結花、由真の３人でエレベーターに乗っている時、もしも突然故障したら３人はどーする？

こういう時って、３人の性格が思いっきり出ちゃいそーでコ・ワ・イ・！　え〜っと、まず結花はねぇ、最後まで必死になってなんとか脱出する方法を考えると思うな。唯は、ある程度考えてみて、ダメだと思ったら途中であきらめちゃうかもしんない。で、私はというと…、どーにかして逃げようとするだろうけど、成りゆきにまかせる性格だからなぁ。ひとりで死んじゃうのはつまんないけど、３人だったらまぁいいかっ！　なんてコトはないないないっ‼　でも、けっこうそれに近い感じじゃないかなぁ…。エヘヘ。

１年間、３人でドラマやってきて、すごく楽しかった。唯も結花も、大好きっ。最初は、ふたりともすでに芸能人だったし、まるっきり新人の私なんか、仲間に入れてもらえないんじゃないかなって思ってたけど、ふたりに会ってホッとしたんだぁ。だって、すごくやさしいんだもん。撮影前のトレーニングの時から、３人で励まし合ってやってきたって気がしてマス。

結花とのいちばんの想い出は、高所恐怖症の結花と、高いとこ大好きの私とで、７Ｆのビルの上でロケをやった時のこと。結花はホントに高い所がダメみたいで、私も結花を支えながら演技したこと覚えてる。結花、半ベソかきながらセリフ言ってたりしてて、それがすごく印象的だったの。いつも強い子なのに、本当に恐いんだなぁって。結花にもこんな面があったんだなぁって思ったのよね…。

唯は、ホントに可愛いくってネ。あの宮崎弁が演技じゃなくてそのまんま唯の言葉ってことが、印象的だったナ。唯は、３人の中でいちばん体が弱かったから、すごく心配だった！　大きなケガも多かったものねぇ。

撮影中、いつも３人で何かしらうたったり、話したり笑ったり…。とても楽しかったヨ！

## XMAS

[krísməs]

少し気が早いけど、私のとっておきのクリスマスにまつわるエピソード！

あなたは、サンタクロースがいることを信じてましたか？　私は、中学1年生まで、ずっと信じてたの。みんなには、すっごいバカにされたけどねぇ。でも、ホントにいるんだって思ってたんだもん。子供のころ、ママに〝サンタさんって、本当にいるの？〟って聞いたことがあるの。そうしたら、

「信じてない人のところには来ないけど、信じてる人のところへは来るんだよ」

と、ママ。私たち姉弟の枕もとには、ものごころついたころから、ずーっとプレゼントが置いてあったから、ママの言うことはホントなんだなぁって、ずっと信じてたの。

クリスマスの前の晩、妹とふたりしてサンタさん宛に手紙を書いて、夜眠る前に枕もとに置いとくの！　そうすると、だいたい手紙に書いておいたプレゼントがきてたりして、すごく嬉しかったんだなぁ。

「サンタさん、手紙のお返事くれないかなぁ」なんて妹と話して、〝お返事下さいっ！〟って書いたりね。いつも私たちの手紙を持って帰ってくれてたから、ふたりしてサンタさんからの返事を楽しみにしてたの。でも、毎年毎年プレゼントだけでお返事は一回もこなかったんだよね。

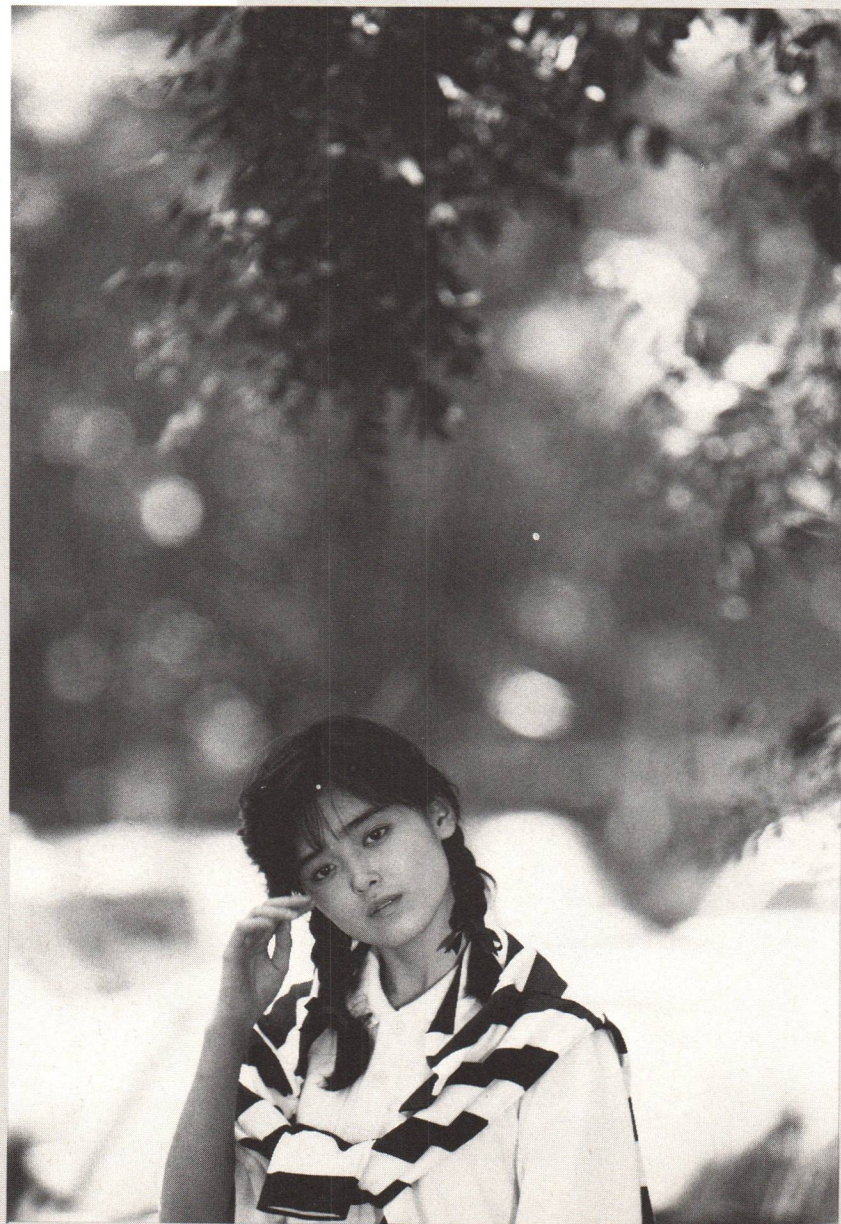
私も妹も大きくなって、まわりの友だちから〝まだ信じてんの？〟なんて言われ始めたころ、妹がママの部屋で探し物してる時に、ついに発見しちゃったんダ。私たちが、サンタさんにあてたお手紙…。ママ、ぜ〜んぶとっておいてくれたんだよねぇ。私も妹もビックリして、ママに聞いたの。

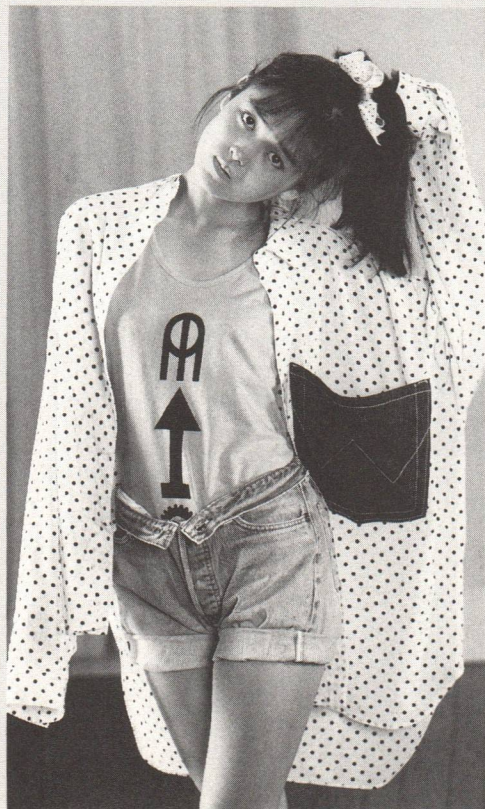
「ママたちがサンタさんやってたんでしょ」

ママは何も言わなかったけど、結局私たちが気づいちゃったから、それからあと、中2のクリスマスからは、サンタさんも来なくなったの…。しばらく経って、ママ、

「ふたりとも信じてたから、夢を壊したくなかったのよね」

プレゼントよりも、そんなママたちの気持ちが、私も妹もと一っても嬉しかった！

女の子の幸せ…
それは　やっぱり男の子。
それだけだと思う。
好きな男の子とずっと一緒にいれること…
好きな男の子と手をつなぐこと…
それ以上　安心感あることってないよな。
女の子だもん…
見つめるよりは　見つめてほしい。
愛するよりは　愛してほしい。
女の子としては…

ふりむけば　そこにあなたがいる…
淋しい時は　一緒にいてくれて
泣いてる時は　笑わせてくれる…
あなたの瞳が私だけのもので
私の瞳があなただけのもので…
あなたと同じ時の流れの中にいられること
幸せだと思う。
あなたに逢えたこと
何よりも感謝したい。
今　世界にあなたがいて
私がいて…
そして　あしたもきっと　―　これからもずっと
ふりむけば　そこにあなたはいてくれる…
そう　信じて…

[wə:d]

海…
今 1番 行きたい場所… 1番 好きな場所
デビュー前 よく友達と行ったっけ。
朝早い仕事の時、車の窓から見える風景見ると
始発電車に乗って 海に行ってた頃のこと
思い出す。
どんなに空いてても ドア越しに立って
朝日 見てたっけ… それがすごく好きだった。
海… 波がオレンジ色に変わる時の海 ― 好き。
何もかも忘れさせてくれる… そんな感じが好き。
ずーっと そこにいてもあきないのは どうしてだろー…
いつか 好きな子ができた時、
2人だけで行きたいなぁ―。
夢だナ…

# VALENTINE'S DAY

[vǽləntàin'z-déi]

バレンタイン・デーって、２種類の過ごし方があると思うんだぁ。あ、これは女の子にとってのねっ。まずひとつは、オーソドックスなパターンで、大好きな人に告白するために、１日じゅうドキドキしちゃうっていうパターン。で、もうひとつはというと…、イベントみたく楽しんじゃう！　チョコちょーだい！　っていう男の子に、プレゼントしてあげるの。だから、愛の告白とかぜんぜん関係なく（!?）チョコレートが教室をとびかうっていう、お祭りみたいな過ごし方ねっ。この場合は１ヶ月後に、チョコをプレゼントしたぶん、たくさんキャンディーをもらえちゃうっていうお楽しみ付きでもあります。

私は、イベント的バレンタイン・デーにはいつも参加してるんだけど、オーソドックスなバレンタイン・デーは、まだ一度しかないの。それも、告白するために…というのではなくて、つき合ってる男の子にプレゼントしたっていうパターン。この男の子は、〝H〟のコーナーに登場した子なんだけど、けっこう大変だったんですよねぇ。

手作りチョコレートをプレゼントしようと思ったの。でも、これが難しくてね。チョコを湯せんにかけて溶かすんだけど、上手く溶けなかったり固まっちゃったりして、何回も何回もやり直したの。もう、泣きながら作ったんだから。失敗するたびに、近くのお店にチョコレート買いに行って、20枚以上使っちゃった！　そこのお店においてあった板チョコ、結局、私が全部買っちゃったくらいなんだもん。手作りチョコなんて初めてだったし、友だちにＴＥＬしたら、〝もう出来たョ〟なんて言ってるし。作り方を聞いて、同じようにやっても、やっぱりダメ。お母さんに手伝ってもらって、〝あー、やっと出来たぁ〟と思ったら……朝！　初めての手作りチョコレートは、徹夜作業になってしまったのデス。

でも、どんなに大変でも男の子には言えなかったなぁ。恥ずかしいもん、たくさん失敗しちゃったなんて…ネ。

２月14日の女の子の隠された努力、少しは気づいてくれたかなぁ？

# UNDERSTAND

[ʌ̀ndərstǽnd]

自分のことをちゃんとわかってくれる人って、そんなにいないよね。逆に、自分のことのように理解してあげたいって思う人も、やっぱり限られた人になってくると思う。

自分にとって、とても大切な人、あなたは何人いますか？　ひとりでもそういう存在の人がいることって、とても素敵なことですよね。私にも、大切にしたい友だちがいます。

その友だちの中でも、特に、この女の子とのことは、忘れられない想い出。彼女とは、今の高校でも一緒なんだけど、実は、その前の高校からのつき合いなのです。１年生の時に知り合ったんだけど、すごくいい子でね。お互いになんでも話し合える友だちになったの。でも、ある日、彼女がプツンと学校へ来なくなってしまい、クラス中が大パニック！先生もクラスのみんなも、誰ひとり彼女の居場所を知らなくて、みんなで心配してたのね。しばらくして、私のところへ連絡がきたんだけど、行かなくなった理由も今いる場所も誰にも言わないでって言うの。私、すごく悩んじゃった。でも、学校に戻ってくるように話をしなきゃいけないと思って、先生に相談したの。理由は言わなかったけれど、場所だけ知らせたんだ。で、先生とふたりして彼女のところへ行って、何回も何回も話し合ったんです。その時のクラスは、先生もみんなもすごく仲良しでね。団結力なんか、学校でNO.1だったの。だから、クラスのみんなも好奇心とかそんなんじゃなく、ホントにあんたのこと心配してるんだよって、みんなが来れないぶん、彼女に気持ちを伝えたの。

結果、前のように私たちのクラス・１年５組に、彼女は戻ってきました。でも、ちょうど入れ違うようにして、私はこの仕事が決まったため今の高校へ転校することになったの。

転校していく前の日、私に内緒で、彼女がリーダーになってお別れ会をしてくれた時は、嬉しかったなぁ〜。クラス全員で、『My Revolution』をうたってくれたこと、彼女が、

「由真は、人のこと心配するのもいいけど、
　それよりも自分のことを考えな！」

そう言ってくれたことが、忘れられません…。

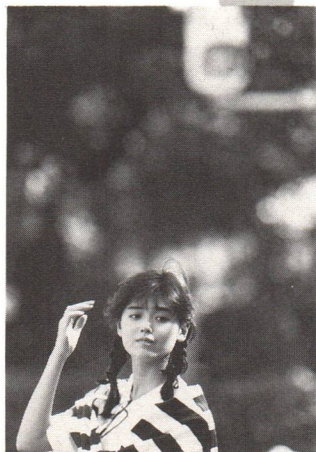
## TELEVISION

[téləviʒən]

テレビといえば、やっぱり『スケバン刑事』ですね〜、私の場合。もう一年以上前の出来事になるんだなぁ、トレーニングやってた時って、高2の夏休みだったもん。本当に、時間が過ぎていくのって早いですねっ。

このドラマのお話がくる前にね、私、ドラマもやってみたいなって思ってたんです。それも、ドラマやるとしたら、一度はツッパリの役をやってみたいなぁ、なんて思ってたの。で、実際に思ってたようなドラマが決まって、〝これから大変だなぁ〟って考えてたら、トレーニングの時から、私の予想をはるかに上回る大変さでビックリ！　トレーニングの休み時間に、結花や唯と、〝私たち、本当にやってけるのかなぁ〟なんて話し合ったりしたこと覚えてる。ホントにそれぐらい初めから大変だったの。

〝ツッパリの役、やってみたい〟って思っておきながらも、やっぱり実際にやってみると、言葉遣い、立ち回りとすべてが大変だった。初めのころのビデオみてると、恥ずかしくなっちゃうもん。だって、今も下手だけど、あのころってすっごく下手だったでしょ、演技が。慣れてないっていうかね。だんだん、風間由真っていう役になりきれるようになっていったと思うんだけど、なりきっちゃうと、それはそれでまた辛いことがあった。だって、他のコーナーでもお話したように、私っていう女の子は、ブラウン管の風間由真そのものなんだなって、ファンの人たちから思われちゃって…。やっぱり、それって辛かったなぁ。女の子だもん。衣装を脱げばいつもの私に戻るわけでしょ？　だからねぇ…。

打ち身やすり傷で、ボコボコになったこともあったし、冬の寒いロケ現場で凍えちゃいそうな時もあった。ホントに伝え切れないくらい大変だったけど、でも、楽しかったョ。家族よりも、結花や唯、スタッフの人たちと一緒にいた時間の方が多かったなんて、17年間生きてて生まれて初めてのことだし、一年という短い時間の中で、こんなにいろんな経験を積んだのも、もちろん初めて…。撮影隊のみなさん、本当にありがとうございました！

## SNOOPY

[snú:pi]

ここで､お礼をいわなきゃいけないんだっ。みなさん、スヌーピーのプレゼント、たくさんたくさんどーもありがとうございました!!
「スヌーピーが大好きです♡」
デビュー当時から、好きなモノといえば〝スヌーピー！〟 趣味は？ と尋ねられれば、〝スヌーピー！〟だった私。スヌーピーにかこまれた生活で、由真はとってもうれPー！ マネージャーさんまで、顔がスヌーピーに似てきたくらいなんだもんっ。もう、徹底してますよね。

私のスヌーピー大好き病は、中学3年生から。キャラクター・グッズを集めることが好きなのかなぁ､私って。それまでは、〝ニャンニーズ〟シリーズをコレクションしてたんです。そんなある日、スヌーピー君との劇的な出逢いが…!? 友だちのお誕生日プレゼントを､ファンシー・ショップに買いに行った時､バーンと私の瞳に映ったのが､スヌーピー・コーナー！ いわゆる、ひと目惚れってやつですねっ(なわけないか〜)。〝か・かわい〜♡〟と思った私は、それ以来、鬼のようにスヌーピー・グッズを集め始めたわけです。

移動用の車の中は､後座席ぜ〜んぶスヌーピー。スヌーピーに席を占領されてしまった私は、今や助手席に乗っているというすさまじさ！ 『スケバン刑事』撮影現場用に持ち歩いているスヌーピー〝大工さん〟バックの中身も、もちろん一色。タオル、手鏡、ブラシ、ハンカチetc…。学校でも、もちろんスヌーピー・グッズご愛用。シャープ・ペンシル、消しゴム、筆箱、ノート､下じきetc…。そして、家へ帰れば、スリッパからうちわ､ハンガー、ゴミ箱と、スヌーピーだらけ！

どんな物がいくつあるかなんて、もう数え切れないよ〜。

でも、最近、ふと思うんだぁ。私、もう17歳でしょ？ ねぇ、なんか恥ずかしくなってきちゃう。17なのに、〝スヌーピー！ スヌーピー!!〟って。そろそろ卒業した方がいいのかなぁ……。あ、そーだ、新製品が出来たんだもん、集めなきゃ。今度はスヌーピーが正面向いてるシリーズ！ がんばろーっと。

# RAIN DROP

[réin-dráp]

このへんで、私の子供のころのお話を、ちょっとだけしてみたいと思います。

〝ちょっとだけ〟っていうのは、私の記憶の中には、子供のころの想い出ってコレしかないからなの。その、コレとはですねぇ…、とにかく泣いてることしか覚えてないっ!

だって、毎日のように泣いてたんだもん。保育園に行く時、入口までお母さんに連れて来てもらうと途中で〝バイバ〜イ〟って別れるでしょ? 私はあれですら泣いてましたからねぇ。〝ママ、帰っちゃやだぁ〜〟、もうママの〝マ〟を言ってるころは、大粒の涙がポロッ、ポロッ…。毎朝これを繰り返してました。ママも保育園の先生も大変だったと思うなぁ。

妹とケンカしても、すぐ泣いちゃう。姉妹でもそうなのに、保育園や小学校のクラスの中で、私が内気な子だったコトは言うまでもありませんっ。でも、この性格も小学校5年生のころから少しずつ変わってきたの。担任の先生がとってもいい先生で、なんでも話ができるようなタイプだったんダ。だから、私も歌手になりたいことや、気が弱くてすぐ泣いちゃうこと、いろんなことをお話してたの。先生、うんうんって聞きながら励ましてくれたのよねぇ。それに、ちょうどこのころ、弟が生まれたから、ますますしっかりしなきゃって思ってたんだなぁ。

今でも、初対面の人だと人見知りしちゃうところがちょっとあるの。ほんの少しだけどね。悲しいことや嬉しいことがあると、やっぱり泣いちゃうし…。性格って、大きくなってもあんまり変わんないのかなぁ。

〝N〟のコーナーでもお話したけど、自分の性格って、ホントよくわかんない。だって、さめてる面をもちながらも、ちょっとしたことですぐ泣いちゃう面もあるわけで…。現代っ子なんだか古風なのか、すっごいミス・マッチしたキャラクターなのかなぁ、私って。

## QUESTION

[kwéstʃən]

**Q1**・由真ちゃんを色にたとえると何色？
うーん…赤か黒！

**Q2**・水着にならないのはどーして？
だって、好きな人だけに見てもらいたいんだもん。だから、その日までは…。

**Q3**・宝物は何？
友だち。両親。

**Q4**・ナンパされた経験、ある？
……あ・り・ま・せ・ん・っ・!!

**Q5**・バイクに乗ってる男の子は好き？
いいですねぇ。

**Q6**・じゃあ車に乗ってる男の子は？
もっといいですね！

**Q7**・ＢＦができたらなんて呼ばれたい？
〝由真〟！

**Q8**・プロポーズの言葉はどんなのがいい？
「結婚しよう！」 さり気なくて、率直な言葉がいいなぁ。

**Q9**・自分の体の中で好きなところは？
えー。手とか指、爪かな。脚は嫌いです。X脚みたいなんだもん。

**Q10**・男の子とすれ違うとき、どこを見る？
目！

**Q11**・〝いじめ〟ってどう思う？
絶対によくない！ 私、いじめにあってる子みたら、絶対とめてたもん。許せないよね、いじめなんて。

**Q12**・いつも必ず身につけてる物は？
指輪。左手の中指にシルバーの指輪、くすり指にはハート形のダイヤが飾ってある指輪。『キャサレル』っていう香水もいつもつけてマス。

**Q13**・国際結婚をどう思う？
私はやだな。だって、ハーフの子どもが生まれるでしょ？ いじめにあいそうでかわいそうだもんっ。

**Q14**・男の子にとって必要なものって何？
うーん…正義感、責任感。

**Q15**・では、女の子には？
やっぱり、やさしさとか思いやり。

**Q16**・初めてエッセイ集を作った感想は？
照れながらも一生懸命書きました！
一生懸命読んでもらえると嬉しいな…。

# PANIC

[pǽnik]

『スケバン刑事』に出演。そして子供のころからの夢も叶いレコード・デビューした私。

毎日が新しいことばかりで、とっても大変だったけど、それでも自分の好きなことをやってるっていう気持ちから、すごく充実していました。でも、一度だけ、頭の中がパニックしちゃうくらい悩んだ時期があるの。それは、２枚目のＥＰ『シビアー』を発売したころのことです。

ちょうど４月から５月にかけて。そのころの私は、もうとにかくいろんなことで辛かったの。学校へは行きたくてもいけないし、シングルは私やスタッフの予想に反してあまりいい数字が出なかったし、おまけに、『スケバン刑事』での風間由真のイメージが強過ぎるのか、中村由真イコール、テレビでみるツッパリの由真…みたく思われてて、悔しい気持ちと悲しい気持ちとで、心の中はグチャグチャだったの。もう、ホントに…辛かったな。好きな仕事だけれども、何ひとついい結果が出なくて、〝私、なんのためにやってるんだろう？〞って考えちゃった。〝17歳なのに、どうしてみんなと同じように出来ないんだろう？〞とか…ね。毎晩のように泣いてたなぁ。

きっと、精神的にまいってたんだと思う。たまに学校へ行くことが出来ても、勉強はほとんどわかんなくなってるし、友だちも友だちで、私がいない時にいろんな話題が出てるでしょう。だから、一緒にいても話がみえてこない時ってあったし…。仕方ないなぁって思ったけど、やっぱり学校のことがね…いちばん辛かった。

私、自分のことで悩んでる時って、絶対に誰にも打ち明けないの。両親にも友だちにも。自分で考えなきゃ、どうしようもないことだってわかってるから…。結局、この時も考えて悩んで、そのうち友だちのひとりが気づいちゃって話したんだけど…。すぐにこう言われたの。

「考えても仕方ないよ。自分が好きで選んだことでしょ？　がんばりなよ！　ねっ？」

デビューして初めての大パニック。今だから言えるけど、すごくいい勉強になったなぁ…。

# OLIVE

[áliv]

女の子だもん、やっぱり気になりますオシャレのこと！『Olive』読んで研究したりねっ。最近は、モノトーンの洋服が多くなってきたの。白、黒って前はそんなに好きじゃなかったのね。でも、なんでかわかんないけど好きになった。やっぱり、組み合わせが簡単ってところがいいのかなぁ。白と黒って、シンプルな感じでピタッとキマっちゃうでしょう？　ただ、あんまりシンプルすぎてさみしくならないように、必ずどこかひとつワンポイントつけるの。黒、白の中に一色だけ原色の物を着るとかね。

アクセサリーでポイントをつけるってことは、あんまりしない。前はよくネックレスや指輪を買ってたんだけど、最近は買わなくなっちゃった。アクセサリーいっぱいつけるのって好きじゃないしね。

DO！FAMILYやディーズ・ブルーも一時期すごく好きだったなぁ。CANにもよく行ったし、ピンクハウスやグリーン・ハウスに憧れてた時もあったんダ。それに比べると、今はそんなに好きなメーカーってないの。DCものって確かに高いしねっ。〝あ、コレいいなぁ〟って値札みると…買えないもん！　だからね、早く18歳になって丸井のカードつくりたいのっ！　エヘヘヘ。でも、スタッフの人から反対されるんだよねぇ。
「絶対に払っていけなくなるからやめろ！」だって。欲しいんだけどなぁ、ホントに。

オシャレって楽しい！　そんなにすご〜い格好して歩くわけでもなんでもないけど、自分らしいファッションがキマった時って、ワクワクしちゃうもん。靴下の色や柄を、シャツやパンツとコーディネイトしてみたり…ね。

今ねぇ、キレイな紺色の洋服に憧れてるの。なかなかないんだよね、紺色の服って。あと、茶色。今年の秋〜冬は、紺色の洋服探しと、茶系統の洋服のコーディネイト。このふたつが、課題かな。でも、ウワサによると、今年は茶色が流行しそうなんだって。流行ってるから着てるって思われるのもやだしなぁ…。

ねぇ、あなたはどう思う？

# NAKAMURA YUMA

[nakəmurə-yumə]

〝中村由真ちゃんて、いったいどんな子？〟こういう質問が、いちばん苦手ですねェ。だって、自分のことってなかなか上手くいえないもんですっ。そう思いませんか？

アルファベットの〝N〟、これはやっぱり自分の名前だなぁ、なんて簡単に決めてしまったものの……、うーん。自分の性格を自己分析すると、とにかくマイペース！　典型的なB型って感じ。そのB型のせいか、私の友だちは、みーんなB型かO型なんですよネ。占いどーりっていうか、確かにBとB、そしてBとOは性格が合うらしいの。だから、その逆に、A型の友だちは、あまりいないんだよねぇ。結花と唯は、その数少ないA型友だちの中のふたりってわけ。

占いといえば、手相占いか何かで、霊感が強いって言われたことがあるなぁ。本人、ぜんぜん感じないんだけど…うん。UFO見たことないでしょ、お化けだってナシ。ただ、予知能力っていうのかなぁ、予感が当たることはよくあるの。たとえば、喫茶店で有線が流れてくる時に、〝あっ、次はあの人の曲がかかりそう〟とか〝私の曲がかかるな！〟なんて思ってると…、ピタッとかかっちゃう。あと、〝今日、この子から電話がありそう〟って思ってると、予想通りかかってきたりネ。

不思議な不思議な予感、でも、ここぞという時は発揮してくれないからつまんないのよね。ほら、試験のヤマが当たっちゃうとか、そーいうのはぜんぜんダメ！　どーしてなのかなぁ。

けっこう試験の時は、持ち前の負けず嫌いの性格で勉強しちゃうから、予感が働くパワーまでないのかも…？　フフフ。でも、本当に負けず嫌いなんですよね、私。何やる時でもそうなの。大の苦手な勉強やファミコン・ゲームをやる時も、出来ないくせにすっごくムキになっちゃう！　ファミコンなんて、TVの前に正座したまま2時間くらいやってるの。でも…、ぜんぜんダメ。大西結花がうまいんだよねー。もう、ほとんど神技もの!!　ほんとーに、すごいんだからっ。

## MAMMA

[mə́:mə]

お母さんっていうよりも、姉妹みたく仲良しなの。ママと私って。もう、すご〜く尊敬してるっ。結婚したら、私もママみたいなお母さんになりたいなぁ…って思ってるくらい。

学校の参観日なんて、いつもウキウキしてたョ。だって、お母さんにしてはずいぶん若いし、とっても素敵なんだもん。今でも、私と洋服を借りっこして着ちゃうくらい、若い！私がいつも読んでる少女マンガも、そもそもママが読んでたから読み始めたの。『別冊マーガレット』でしょ、『別冊フレンド』でしょ、『週刊マーガレット』に『花とゆめ』！　この４冊は、ずーっと家にあったから、小学生のころから読んでるんダ。普通だったら、子供がマンガ読んでると、お母さんたちから叱られるんだろうけど、うちはぜんぜんナシ。だから、友だちなんてみーんなうちに集まってきてたの。

私が歌手になりたいってことも、ちゃんと理解してくれてたし、応援もしてくれてるし。そのぶん、

「ここまでがんばってこれたんだから、これから先、悩むこともあるだろうけどそれだけ覚悟しときなさい！」

ってピシッと言ってくれるの。厳しいけど、でも、頭ごなしに反対なんてしないっ。

私の〝マニキュア、大好き〟も、きっかけはやっぱりママなの。小学生のころ、ママがきれいに爪をのばして、マニキュアを塗ってるところをそばで見てたのね。それで、〝いいなぁ、いいなぁ〟って思ってて、お休みの日とかには、私も遊びで塗ってもらってたの。

「由真も大きくなったら、自分のをちゃんと買ってあげるからね」

なんて言われて、〝あー、早く大人になりたいなぁ〟って、ずっと思ってた。

中学１年生の時かなぁ、初めて買ってもらったの。ピンクの薄いやつ。大喜びして家へ帰って、塗ってみたの。左手は自分でできるんだけど、右手だけママに塗ってもらって…。そうするとね…なんだか、気分が大人になるんですよねぇ。マニキュア塗ると…。あの時の、すごく不思議な気持ち…覚えてるョ。

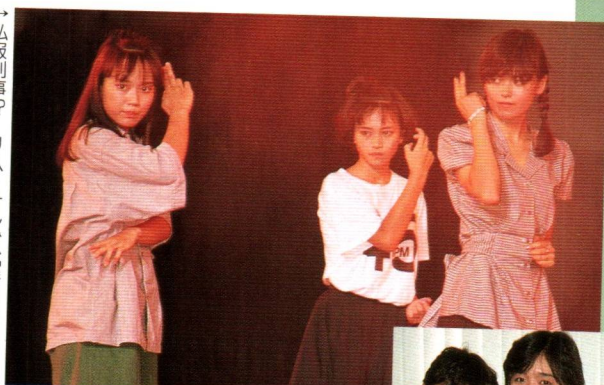
# とびっきりの想い出を、3人は胸に抱きしめた…。

←嬉しくて、悲しくて…。涙いっぱい！

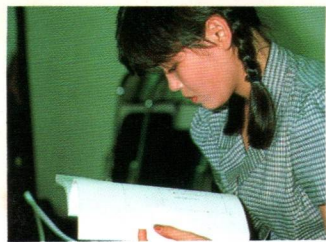
→私服刑事!? リハーサルで、「勝負ッ！」

←記者会見では、まだ感動さめやらぬ…3人

→「由真のエッセイ集のために♡」ピース！

3人で大好きなキャンディーズの「年下の男の子」を歌ったり、3人3様の衣裳でミニコンサートをやったり…と、楽しさ一杯のステージをみせてくれた由真、唯、結花…。風間三姉妹に、これでまた、想い出がひとつ。とびっきりの想い出がね。

←ステージを離れても、いつも3人一緒だったネ

→3YUのこのポーズとも、もうすぐお別れなんだよ

# ACTIVE YUMA
## in TSUMAGOI with YUI & YUKA

←3人で作るイベント。いつもより気合も！

←「エーン、これもダメ」好き嫌い、本当に多いナ

→メイクは自分で。三ツ網みは結花がヘルプ

←唯と一緒にGO！ なかなかの腕前だぜっ

→「どーお？ なかなかのもんでしょ」でV！

←結花はスキーが得意なだけに◎。由真は…。

↓フリートークのおしゃべりも3人で考えた

↑「キャ——！」な気分で「もぉ、やだっ」

↑「ブルドーザーに乗ってるみたいなんだョ」

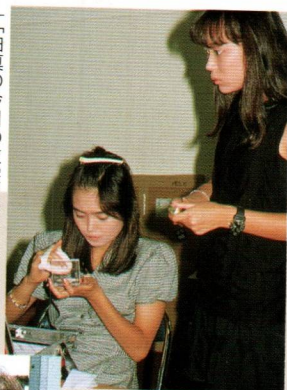
↑本番では、セーラー服で「ジレンマ」も披露

↓「ワー、ドキドキ！でも3人だもん、大丈夫」

←最初に涙ぐんだのはやっぱり由真だった

30日の本番のために、由真そして唯＆結花の３人は、スタッフとともに前日から現地入りというスケジュール。なわけで、由真たちを乗っけたロケバスを追っかけるように、取材班はつま恋までベッタリ密着したのでアル。道中、レストハウスでひと休みの図や〝キャー海だぁ、うれPー！〟で思わずバスを止めてしまうの図などなど、無邪気にACTIVEしてる由真！　もちろん、現地に到着してからもその動きたるや大変なもので、ゴーカートに乗ったり芝スキーをしたりと、唯や結花とはしゃぎまくってたゾ。「泊り込みで来れて嬉しかったぁ」の３人は、夜遅くまで唯の部屋でダンス大会！　なーんて、実はコレ、ダンスではなく〝風間三姉妹〟の歌う『Remember』の振りつけを、３人だけで考えてたのダ。３YU共作のオリジナルで踊ってくれるなんてググ、感激！　30日のステージは、そんな由真たちの熱い想いがいっぱいだったゼ。

↑ステージを終え楽屋で放心状態（ノ）の３人

←「由真の今日の衣裳はどーれかなっ？」

←「由真、鉛筆削り借して」学校じゃないゾ!?

→高速のインターで「ねぇあのコカッコいいヨ」

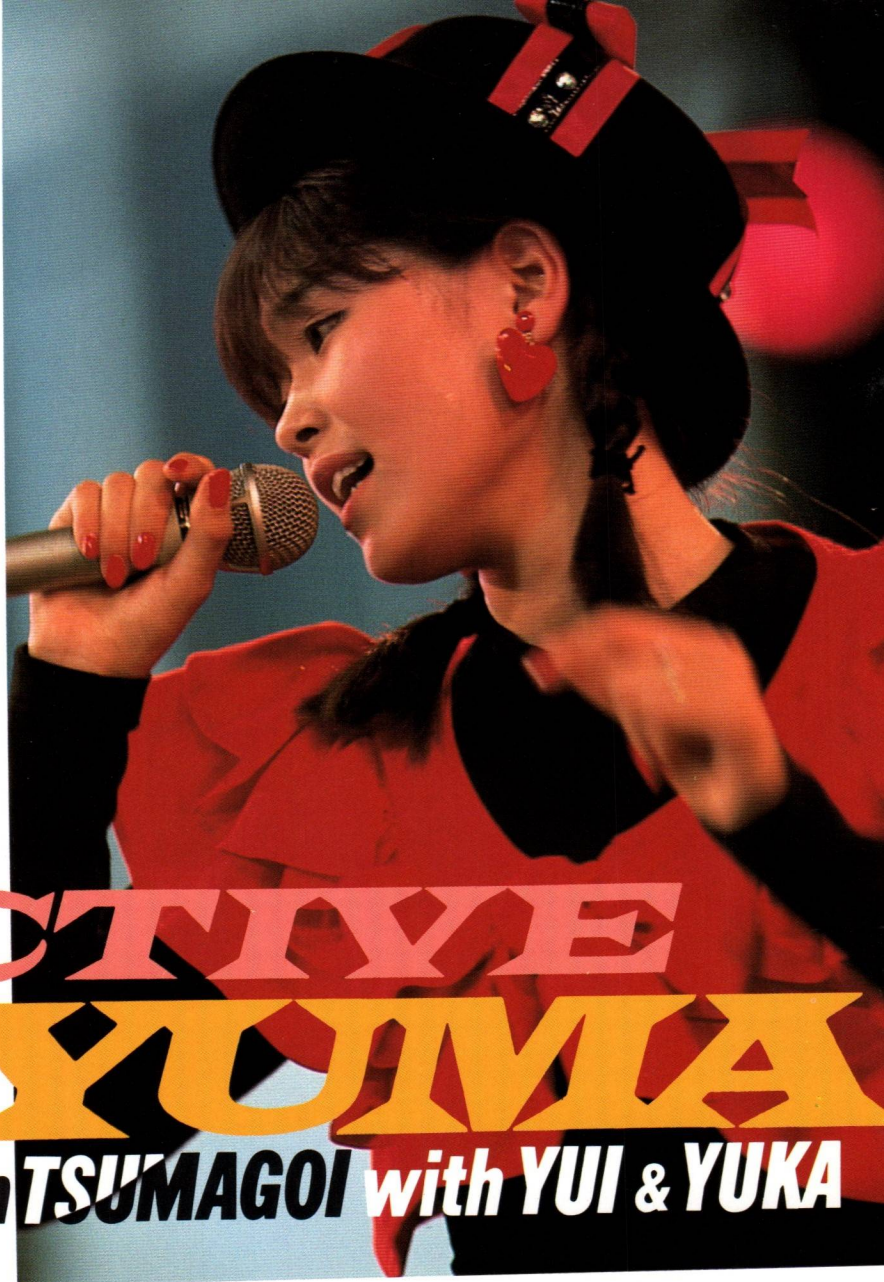
→イベント終了後の記者会見で、「大充実！」

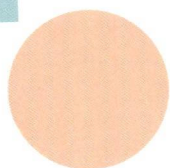
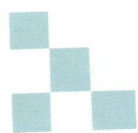
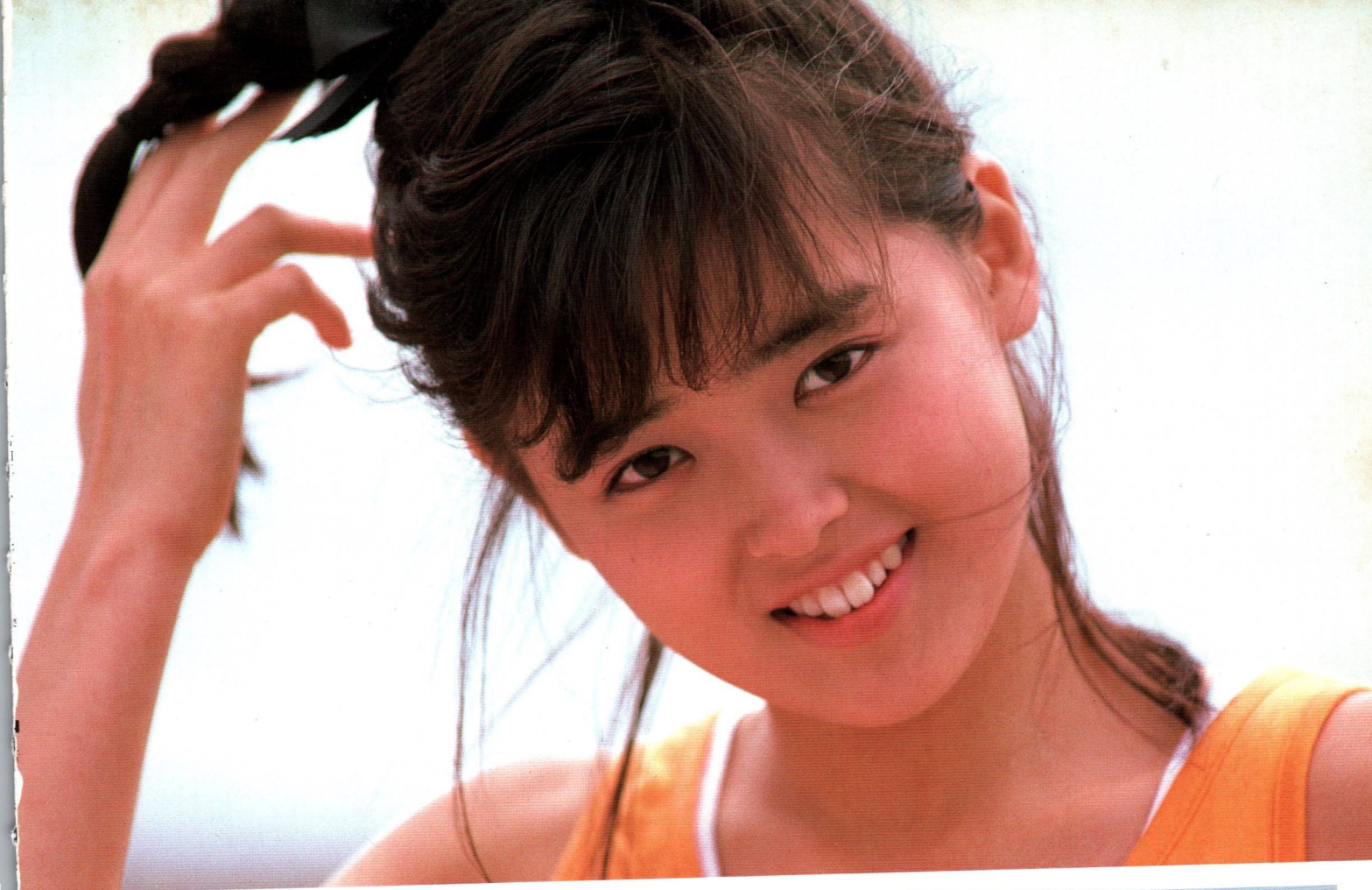
←前日のリハーサルで。後ろ姿も美女だね。

→一心同体のマネージャー氏がうらめしい！

↑「立ち回りが終わる迄、本番は不安なの」

# ACTIVE YUMA
## in TSUMAGOI with YUI & YUKA

8月30日、静岡県・つま恋で行なわれた″スケバン刑事フェスティバル″。由真の立ち回りや歌、おしゃべりが生で楽しめるチャンスとなれば…、こりゃ、やっぱり追っかけルポしかないでしょー。素顔の由真をキャッチUP！

泣き虫の私。大好きな夕陽の海で、大好きな人とファーストキス。もうエンエン泣くに決ってます。

やっぱり由真は夏が好き。
潮風と陽射しのカクテルが
とってもおいしいから……

# LETTER

[létər]

〝DIARY〞のコーナーでも書いたように、メモや日記を書くことが大好きな私。もちろん、お手紙もよく書いてました。

文通してたことも、実はあるのデス。それも、デビュー直前まで！

中学生のころ、私の友だちが雑誌のペンパル・コーナーに応募したの。それで、紹介されたのはいいんだけど、すっごくたくさんの人から文通の申し込みがきちゃって、その中のひとりの人と、私が文通を始めたんですよネ。山口県の子なんだけど、その子も私と同じように歌手を目指してたから、〝一緒にがんばろうネ〞なんて励まし合ってたんダ。

一度も会ったことはないし、その子は写真を送って来てくれたけど、私は送らなかったから…お互いに顔を知ってるってわけじゃなかったの。ただ、ずーっと、お手紙で交流してたっていうか…長く続きましたネ。

高校１年になって、このお仕事を始めることが決まってから、とりあえずやめちゃったんだけど、それからも何度か手紙が来たんですよねぇ…。それが、〝誰々さんのサイン、もらってきてヨ！〞だって。もー、ちゃっかりしてるっ。ウフフ。

同じように歌手になることを夢みてて、私だけが先に決まっちゃったでしょ。たぶん、ビックリしたと思うんだぁ。だって、もし反対に、私の文通相手が歌手デビュー！　なんてことになってたら、きっと自分のことのように驚いたと思うもの。

今、どうしてますか？　元気でがんばってるかなぁ…。

ところで、お手紙といえば、私はここで謝んなきゃいけないことがあるの。それは、ファン・レターのお返事、書けなくてゴメンなさいっ!!　反省してますっ。いつもいつもあなたからのお手紙に励まされているのに…反省してる…ホントに。男の子だけじゃなく女の子たちも、いっぱいレターくれてるでしょ？　本当にありがとうっ。お手紙読んでると、なんだか、私にたっくさんの妹ができたみたいな…そんな気分になるんですよねぇ。

## KISS

[kis]

これは、もう絶対に夕方の海！　もし、もしも好きな人とKISSするとしたら、私の大好きな海で……って、決めてるのっ。エヘ。

ロマンチックだもん。やっぱり、KISSする雰囲気ってあると思うの。にぎやかな所でデートしても、絶対そうはならないでしょう？　女の子がKISSしてほしいなぁ……なんてバクゼンと思っちゃう時って、やっぱりロマンティックな雰囲気の時じゃないかなぁ。なんていうかぁ、ごく自然にそうなっちゃう♡みたいな…ねっ。

海に行けば、きっとそういう雰囲気になると思う！　由真は、そう信じてマス。

でもでも、そういうムードになるために、〝海へ行こう！〟っていう人がいたら、困っちゃうよねぇ。自然じゃないもの。そう考えると…、本当にすごく好きな人と一緒にいて、自然にそういうムードになってきたら、場所なんてどこでもいいのかもしれないけど…。

憧れは、海で…ね。たとえば、一日ふたりきりでデートするとするでしょ？　そしたら、まず、昭和記念公園みたいなキレイな草原のある所へ、出かけます。そこで、芝生の上に大の字になってねちゃうの。ウフフ。ひざまくらしてもいいなぁ……うん。でね、ふたりでおにぎり食べて、の～んびりするのっ。

ゆっくりしたあとは、やっぱり海へGO！　デート・コースのラストは、やっぱり海にしたいデス。車でも電車でもいいの、ふたりで海へ出かけて、キレイな夕焼け見ながらボーッとして……それで、うん………えーっと…ゴハン食べて帰るっ!!　アハハ。つまんないかなぁ、それじゃ。

わかんない、私。あっ、でもねぇ、海へ行くときはサザン聴きながら行きたいなっ。大好きな浜田省吾さんでもいいけど、もしかして暗くなっちゃうと困るから。エヘヘ。

やっぱり、これから盛り上がる！　って時は、サザンがいちばんいいみたい……なんだけど、現実は、いったいどーなるんでしょうか？

# JUKE BOX

[dʒúːk-báks]

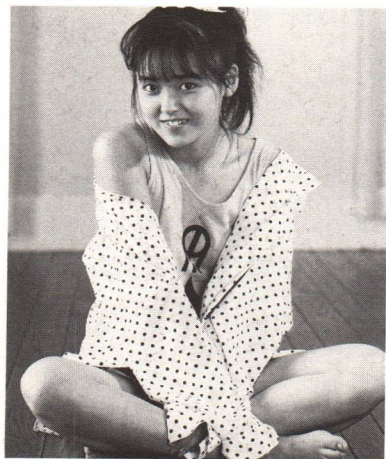
今の私からは想像つかないかもしれないけど、子供のころってすごく内気な女の子だったの、私って。でもね、内気なくせに目立ちたがり屋っていうか、憧れてたんだぁ。目立ってる人とか、目立つことに。そんな私だから、もう当然のように歌手っていうのは、憧れそのものだったの。キレイなドレス着て、華やか〜って感じなんだもん。みんなお人形さんみたく可愛くってネ。私、歌も大好きだったから、歌手になってずーっと歌をうたっていたいなぁ…なんて、いつの間にか夢みてたんです。

小学生のころは、キャンディーズやピンクレディーが大好きだった♡　友だちと２人組、３人組になって歌ってたもんっ。ピンクレディーは、ブロマイドなんかも持ってたヨ。今でもちゃんととってあります。

オーディションを受け始めたのが、中学１年生のとき。と、いっても２〜３回しか受けたことはないんだけど、オーディションってその会場で、同じように歌手を夢みてる子と友だちになれて嬉しかったぁ。私は、映画『パンツの穴〜花柄畑でインプット〜』とホリプロ・スカウト・キャラバンを受けたんだけど、その時に知り合いになった子って、今でも仲良し。スカウト・キャラバンのときは、グランプリが山瀬まみちゃんで、２位が私。まみちゃんとも、よく☎でお話する仲良し友だちなのデス。

実は、このスカウト・キャラバンが今の私のすべてのきっかけなんですよネ。オーディションを見ていた今の事務所の方に、スカウトされてしまった！　わけです。ホントはあのオーディションでダメだったら、もうあきらめようって思ってたんだけど…不思議です。

とにかく、とってもとっても嬉しかった！　高校１年生の夏休み…だったなぁ。なんだか懐かしい気分。この時、私は中森明菜さんの『スローモーション』と岡田有希子さんの『ファースト・デート』を歌ったんですよね。すごく好きだった、岡田有希子さんって。ＥＰもＬＰも全部持ってたもん。ショックだった…泣いちゃったなぁ…ホント、大好きでした。

## IF
[if]

ジャーン！　ではここで、由真の《IFシリーズ》をやってみたいと思います。〝もし、こんなことがあったら由真はどーする？〟ではでは、まず第１問！（㊟自問自答形式なんだよ～ん。うーん苦しい企画かなぁ…）

《もしも、男の子だったらどーする？》

フフ。もし男の子だったら…、きっとす～ごく遊んでると思う！　彼女もちゃんといて、普通の高校生してるだろうなァ。やっぱり男の子だったら、芸能界にも憧れてなかったと思うし…うん。普通の男の子！

第２問！《もしも、お風呂に入っている時突然、透明人間になったらどーする？》

透明人間になったら、やっぱり好きな子の家へ行くんじゃないかなぁ。ふだん何してんのかなぁ…なんて探りに行くの。エへへ。でも、突然もとに戻るとヤバイからねぇ。あ、そうだ！　洋服屋さんに行く‼　気に入った服を持ってっても、洋服だけが空中にフワフワ浮いてるわけだから、店員さんとか気持ち悪がって絶対寄ってこないョ。ねっ、どうかな。

第３問！《映画をみている時、もし、そのストーリーの中に入ってったらどーする？》

この場合はですねぇ、主人公になりきるっ。ホラー映画なんかで、殺されちゃう寸前に入っちゃったら、殺されないようにキャーキャー叫んで逃げまわる！　どんどんストーリーを変えちゃうの。それとか、もしもわき役っぽいとこに入ったらば、わき役なのに自分が主人公になっちゃう！　エへへ。

第４問《タイム・トラベルできるとしたら、どの時代のどんな国へ行ってみたい？》

えー…行きたくない！　私、今の時代でいいもん。昔はイヤだし、未来へ行って自分の未来見たくないっ。それに…日本がいいな。テレビのニュースとか見てると、ときどき難民の人たちの話題が出るじゃない？　ああいうことを聞いたり見たりすると、本当に日本に生まれて、今のこの時代に生きてて良かったなぁ、幸せだなぁって思っちゃうの……。

と、いうわけで最後はちょっぴりマジメしてしまいましたが、由真の《IFシリーズ》いかがでしたか？

のお誕生日の時、あきらめたの。〝もう、いいや！〟って。あきらめたと思った時に、
「お誕生日、おめでとうっ！」
なんの予告もなしに、すご〜く大きなバラの花束を抱えてうちへやって来たの……！　もう、驚いちゃったっ。この日をきっかけに、電話で話をするようになり、とっても仲のいい友だちになれたの。そして、しばらくして、
「本当はオレも好きだったんだ。つき合ってくれないか」
突然の告白。でも…私の心の中では、彼は〝友だち〟に変わっていたの。

初恋は実らないものって言いますよネ。私の場合も、やっぱり両想いになれなかった…。『アコースティック・レイン』の詞をみてると、この時の気持ちが、すうっとオーバーラップしてきます。

本当に人を好きになると、こんな気持ちになるんだなぁって、彼と出会って初めてわかった…。

中学生時代、私はふたりの男の子に恋しました。ひとりは、その初恋の男の子。そしてもうひとりは、中学3年の時、グループ交際みたいな感じで、つき合ってた男の子。

つき合うっていっても、デートはたった一度だけ。それも、2対2のダブル・デート。お正月に亀戸天神へ、初詣に行ったぐらいなの。中3ということもあって、受験勉強もあったし…。好きな人とのふたりだけの想い出は、何ひとつない私だけれど、私の歌の中に出てくる恋する女の子たちの気持ちは、うんとわかってるつもり…。

胸がキュン♡と鳴り響くかわりに、私の場合、涙がポロポロあふれ出ちゃうんだ、きっと。素敵な恋物語、感じた瞬間に…ね。

# HEART BEAT

[hɑ́ə:t-bi:t]

「由真って、さめてるとこあるよね」
友だちから、よくこんなふうに言われるの。なんでもかんでもさめてるわけじゃないんだけど……、男の子のことに関して。

好きな子に対する感情とか態度が、さめてるみたいなんだって。みんなはね、好きな子の前だと緊張して話せなくなっちゃうって言うの。でも、私って、けっこう平気だったんだぁ。普通、すごく普通なの、好きな子の前でも。それに、みんなが言うように、胸がキュンとすることがないんだよね。

やっぱり仕方ないかなぁ、さめてるって言われても…。でも、胸はキュンって鳴らなかったかもしれないけど、すごく好きになった人、いるよっ。

えーっと、これは私の初恋のお話なんだけど……、〝アコースティック・レイン〟のコーナーでも少しお話しましたよね。あの男の子のこと、ちょっとだけ、お話します。



保育園が同じだった男の子。でも、保育園の年長さんの時に引っ越して行っちゃったの。それからしばらくしてまた同じ学校になって再会。中学一年生のちょうど夏休みのころだったかなぁ、その子も含めてみんなで夏休みの宿題をやろうってことになって、ちょこちょこ顔を合わせてたんだけど……そのうちに好きになったんだと思う。だって夏休みが終わって9月に入ったころから、私、その子に対して自分が想ってる気持ちを、日記みたく毎日毎日ノートに書いてたもの。

その時、初めて人を好きになったって感じだったなぁ…。

もちろん、自分から〝好きです〟なんて言わなかったけど、〝映画一緒に行こうよ〟って、何回か誘ったの。でも、いつも返事は、
「オレ、時間がないからダメ」
すっごい硬派な子なのね。もう2～3回誘ったかなぁ。いつもシカトされちゃって。

それでも、中2の夏ぐらいまで、ずーっと耐えてたの。密やかに好きだったの。

でもね、なんだか途中で〝私、バカみたい〟って思ったんだ。だって、どんなに好きでいても、こっちむいてくれないんだもん。14歳

## GIRL FRIEND

[gə́:rl-frènd]

今までの私の想い出の中には、必ずといっていいほど、いつも女友だちが一緒。

もう数え切れないほど、たくさんいるの。私ってホントに友だちに、恵まれてるなぁって思うのネ。小学校、中学校、高校と、それぞれで知り合った子は、みんないろんな個性の持ち主だけど、すごくいい子ばかりなんデス。小学校から中学校にかけて仲の良かった子っていうのは、地元の子なんだけど、今はみんなも私も忙しくてなかなか会えないのが残念。たまに顔を合わせると、

「なんだか日に日に変わってくみたい！　どんどん遠くなってっちゃうよ～」

なんて言うんだけど…私はちっとも変わってないから安心してよネ。クリスマスとかお誕生日っていったら、みんなで集まってワイワイやってたことが懐かしい！　毎年、春になると、気の早い私たちは海へ出かけてったねっ。〝みんなで一緒に！〟って、好きだったなぁ。考えてみると、中学のときも高校でも、５～６人のグループで仲良しさんしてる。

今の高校でもそうだもの。ここの友だちってのは、なんでも話せる子ばかり。仕事のことも、プライベートなことも。でも、なるべく、仕事の話や相談はしないようにしてるんダ。やっぱり、心配かけちゃうのはやだもんねっ。学校のそばにある24時間スーパーへ、休み時間買い出しに行ったりしてたんだけど…、３年生になってからは、ちょっとごぶさた。だって…大きな声ではいえないけどー、今の先生って厳しいんだもんっ！　学校での楽しみ、減っちゃいました!!　な～んて…エへへ。

このお仕事を始める前に通ってた高校も、私にとってはすごく想い出ぶかいなぁ。とにかく、クラス全員が仲良くってね。ここのクラスのときだけは、少人数のグループっていうよりも、いつもみんなで遊んでたって感じ。あのね、うちのクラスって美男美女が集まってるって有名だったんだヨ。１年５組はつぶぞろいだ！　って。ホントなんだから。この学校での大切な想い出は、〝U〟のコーナーでもお話したいと思いマス。

# FACE

[feis]

「顔つきが変わったね」
最近、よく言われます。あなたからみて、私の顔ってやっぱり変わりましたか？

自分では、とりあえず前よりもやせたかなって感じ。だって、『スケバン刑事』の最初のころのビデオを見ると、顔がまんまるなんだもんっ。目がないよ〜って感じ！　ホッペなんて、すご〜くふっくらしてたでしょう？

そのせいかなぁ。昔は、よくこう言われたの。
「ペコちゃんにソックリ！」
そーなんです。あの不二家のペコちゃん！一時期、すごく不二家に凝ってた時があって、食事！　とか、お茶！っていうと必ず不二家に行ってたの。だから顔までペコちゃんになったのかなぁ…なんてコトはありませんヨ！私のマネージャーさんなんて、一緒に歩いててペコちゃん人形が置いてあるのをみつけると、
「おっ！　由真、どーしたんだぁ、こんなところで。ダメだぞ、舌なんか出してちゃ」
もう怒ることも忘れて笑っちゃいますよね。

前は顔つきもペコちゃんみたいだったけど、それよりも写真を撮られるってことが、すごく苦手だったなぁ。今でもスタジオ撮影の時は、ときどきどうしようもなく緊張することがあるけど、前はぜんぜんダメだったの。だって、ちっとも笑えなかったんだもん。顔のアップとかって、笑おうと思っても顔がひきつっちゃうし。カメラマンの人に無理しなくてもいいんだよって言われて、泣きそうになったり。でも…泣かなかったな、あのころは。笑顔、ひきつってたけどねっ。
「鏡をみて、ひとつイイ顔を自分で作りな」
カメラマンの人からそう言われて、研究してたこともあったなぁ。移動中の時、鏡を見て〝角度はどっちがいいかなぁ〟なんて夢中で研究してた。でも、何回ジーッとみても、結局同じなんだよネ。自分の顔なんだもん。

何度も何度も鏡をみて、いちばん私らしい顔を探してた。今からちょうど一年前の話ですねぇ…。今、あなたの瞳には、どんな顔をした私が映っていますか…？

マイナス10点！　かなぁ。でもでも、編み物は好きよ。セーターも編めちゃうもんっ。総合点数にすれば、けっこういい奥さんになれる……かもしれない!?

結婚したら、芸能界のお仕事はやめちゃうと思うな。やっぱり、家のことをキチンとやりたいし、赤ちゃんが生まれたら大きくなるまでずっとそばにいてあげたいし。それに、今のままお仕事してると、ヘタするとダンナ様より帰りが遅いってことになるじゃない？それは、やっぱりイヤだもん。疲れて帰ってくるのに、ねぇ、奥さんが家にいないんじゃかわいそう。いつ帰って来ても、安心できるような、そんな家庭にしたいなぁ…。

こんなに真剣に考えてるんだけど、やっぱり私、結婚できないのかなぁ。うーん、やだなぁ。そんなに理想は高くないんだけど…。芸能界の人でなければ、どんな仕事してる人でも、その人が好きでやってる仕事ならぜんぜん平気。年齢は…うん、これは出来れば同い年の人がいいなぁ。それか、4歳ぐらいまでなら年上の人でもいい！　あんまり年上すぎちゃうと、なんだか恐いんだもん。私が子供だから、遊ばれちゃいそうな気がする…なんて考えすぎかなぁ。ホントに好きになれば、きっと年なんて関係ないかもしれない、うん。ただし、性格的に神経質って感じの人は、ダメだと思うな。私がマイペースのB型だから、合わないかなぁって気がするんだもん。やっぱり、男の人はおおらかな人がいいなっ。おおらかで、今やらなきゃいけないことをピシッとやる人。先の先のことまであれこれ考えて、今でしか出来ないことをやらない人ってちょっと苦手…です。一緒にいて楽しい人がやっぱり好き。ルックスは2枚目（これ、女の子のホンネ…でしょう）で、中身が3枚目。一見クールな感じなのに、話をするとすごくおもしろい人！　これ、由真の理想です。でもねぇ…現実は淋しい！　17歳なのにそういう人がそばにいないんだもん。みんな彼がいるのにね。私も、いつでも誰かしらに恋してたり、憧れてたりしたいなぁ…。

そうそう、占いでこんなことも言われたの。

「あなたは、18歳で3人の男性からプロポーズされます」

♡エヘヘ、今からとっても楽しみなんだぁ。

## ENDLESS LOVE

[éndlis-lʌv]

子供のころ、私にはふたつ夢がありました。ひとつは、歌手になること。で、もうひとつはお嫁さんになること！

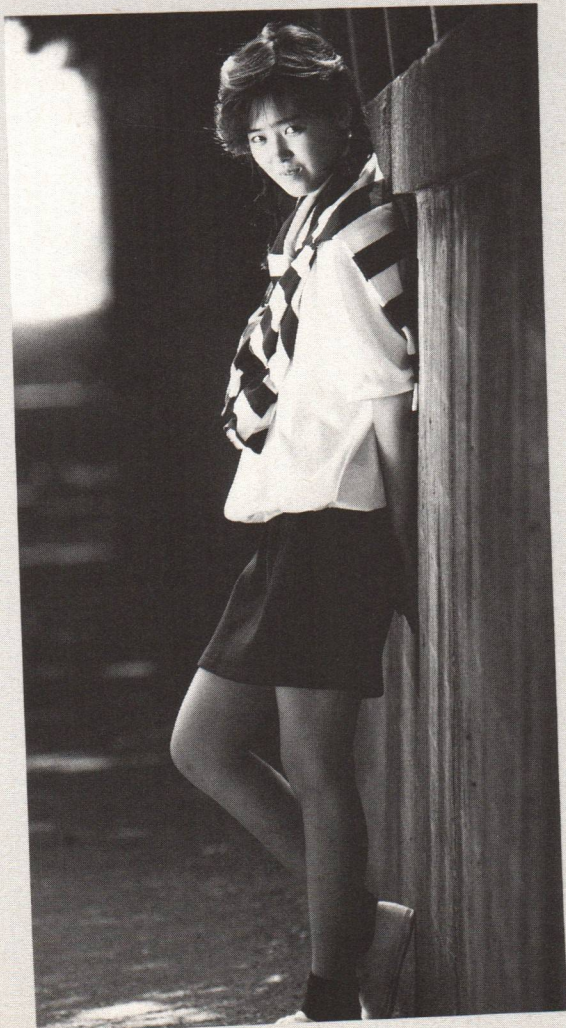
ひとつめの夢は、あなたも知ってるように実現！　パチパチッ。問題はもうひとつの方なんですよねぇ。だって…だってね、すごく当る占いの人にみてもらったら、あんまり良くないの。

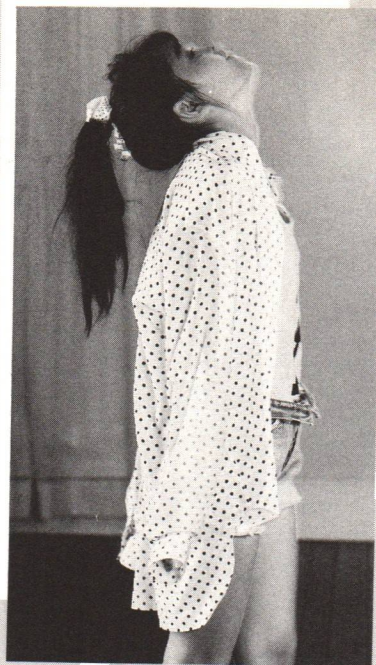
「あなたが、もし23歳で結婚したいと思っていても、その年で出会った人とはしない方がいい。相手は軽い気持ちで考えているからです。結婚するとしたら、25歳。でも、この結婚もそう長く続かないでしょう」

だって！　そう言われた時はガッカリきたけど、でも自分でも思ったの。私って熱しやすく冷めやすいところがあるから、結婚したら初めのうちは燃えるかもしれないけど、どんどん冷めてっちゃうかもしれない……って。結婚できないかも！　って思ったりね。どうなんだろ。憧れてるんだけどなぁ。やっぱり結婚して子供欲しいもんっ。子供の名前も、ちゃんと考えてるんだもん！　女の子だったら、〝結花〟って書いて〝ゆうか〟ちゃん。それか〝あんず〟ちゃん！　可愛いでしょ。男の子だったら……〝翔〟にしようかなぁって思ってたんだけど、この名前だと名字が大変なのよね～。〝○×翔〟、この〝○×〟の中はよっぽど〝翔〟とピタッとくる名字でなくちゃ、名前とのバランスが…！　なんてコトまで考えてるのデス。

お料理も掃除も洗濯も、自信アリ。小学校のころから、自分のことは自分でやるようにってママから言われてたから、けっこう役立ってるの。お弁当も自分で作って学校へ行ってたョ。早起きして、冷蔵庫の中をみて〝今日はコレとコレとコレ！〟なんてネ。得意な料理は？　って聞かれるといちばん困るんだけど、うーん…ハンバーグとカレーライス！　このふたつはよく作ってたなぁ。あ、苦手な家事がひとつだけある。お裁縫って、私、ダメなの。ちょっとしたコトなら大丈夫だけど、家庭科の時間にパジャマ作ったりするのね。あれ、結局最後まで出来なかったの……ハイ、

62.8.27

もう　1年。　スケバンの撮影始まったのが
去年の今日…　早い…　本ト　早かったぁー゛
この1年…ふり返ってみて…　とにかく充実してた。
大げさかもしれないけど　17年間生きてきた中で
1番　いろんな人と出会って　　1番　いろんな事があって
1番　大切な1年だったんじゃないかナって思う。
つらい事も多かったけど　でも　やっぱり
楽しかったナー。
もう少しで　結花や唯ともお別れだけど…
でも　これからが勝負だと思ってる。
ドラマで忙しかったから　歌のお仕事
あまり　出来なかったけど　これからは
大好きな歌を中心にして　頑張っていくんだ。
ファンの人達にも会えるチャンス　いっぱいできるね…
…この1年を　ステップにして、もっと
いろーんなこと勉強して　歌手　中村由真
として　ずーっと　頑張っていきたい。
きっと　つらい事もあると思うけど　スケバンで
きたえられたもん！　へっちゃらでーい！
DO YOUR BESTでネッ!!

62.1.18

今日は 星陵会館での テイク オブ コンサート…
AM 4:30に起きて まず ラジオ番組に出演。
朝早いのも 今日は 別に苦じゃなかった。
途中 フォーライフに寄って 歌＆振り付の
練習した。そしたら 偶然 ラジオで
"初登場14位 ジレンマ 中村由真"って流れた。
もう 100mジャンプするくらい喜んだ。
うれしかったぁ…！
そして いよいよ 本番。
ゆま ファンの人達の前で 歌うの初めてだから
舞い上がっちゃって大変だった。歌詞 まちがえたり…
しまいには 感激しちゃって 大泣き。
握手会も 本ト 多勢の人と握手した。 …
ゆま 今日は 本ト 頑張った。
まじで みんなに感謝したい。
今日は ありがとー。これからも ずーっと 見守っててね。
想い出の 1日に なりそうです…!!

61.11.13

今日 ポスター，ジャケットが出来たの。"ジレンマ"の…
レコード会社に遊びに行ったら
いきなり見せられて…
うれしくって びっくりして… 涙々…
本ト ここまで来たんだなぁ一って実感。
みなさん!! どうもありがとうございます。
ゆきは みなさんの期待に答えられるよう
頑張ります。
スケバンの撮影に入って もう2カ月… 早いなぁ一。
ドラマも すっごく楽しいけど，それよりも
ゆきは 歌の方が楽しいと思う。
1月1日… ゆきのレコードデビューの日
今 1番 待ちど〜しい——。

# DIARY

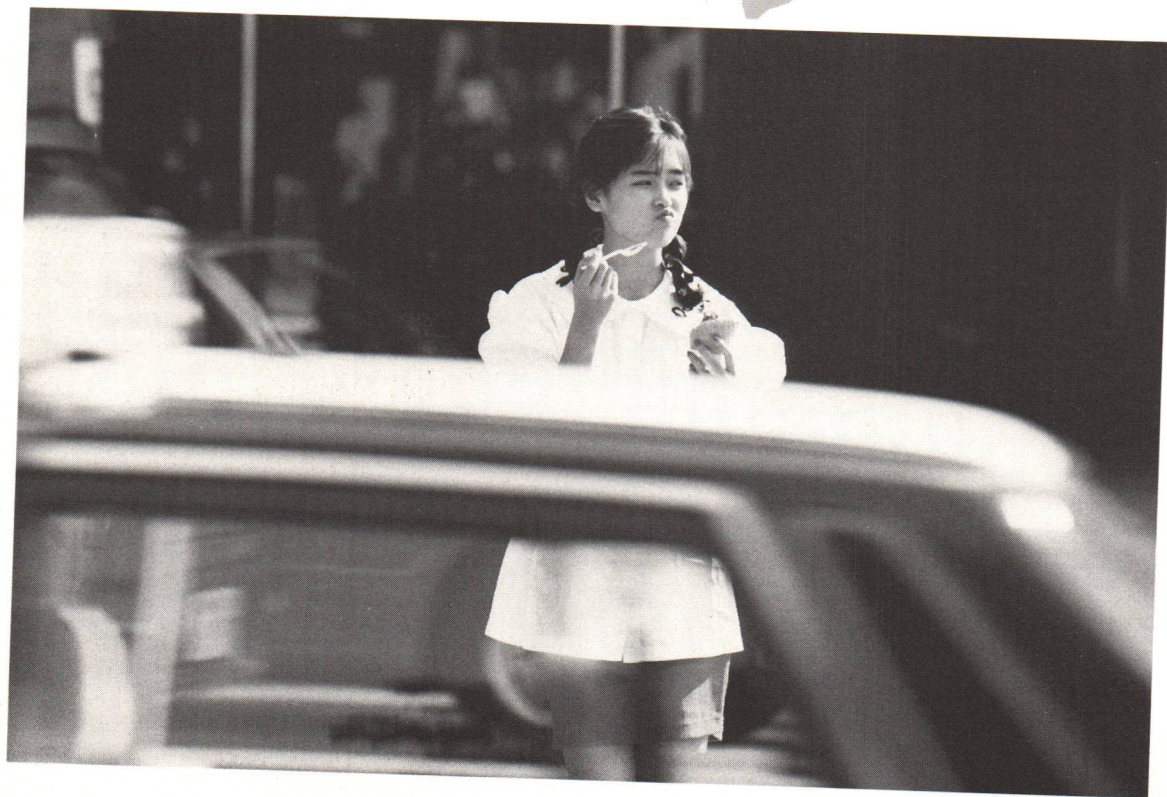
[dáiəri]

その時、思ったことや感じたこと、すぐノートにメモしちゃうってこと、ありませんか？　私、意外と(!?)そういう女の子なの。いわゆる、メモ魔！　す〜ぐ書いちゃうのよネ。『スケバン刑事』の撮影の時も、時間が空いてホーッとしてる時なんかは、すぐに由真愛用のスヌーピー・ノートを取り出して…と。

こんな調子だから、学校の授業中は手紙のまわしっこしてた！　やりません？　ノートのすみっこにゴショゴショって書いて、友だちに回してもらうの。やるよね、きっと。男の子でも女の子でも。そのメモや手紙も、ぜ〜んぶとってあるんだぁ。中学生のころからのをネ。ママは捨てなさいって言うけど、捨てられない！　不思議と、ちゃんととってるのデス。

日記もずーっと書いてるの。小学校４年生ぐらいから、ずっとずーっと。日記帳、10冊。全部とってますョ。でね、ときどき昔のを読むんだけど……なんか笑っちゃう。だって、すごく幼いっていうか、子供なんだもん。今でも子供だけど、もっともっと子供なの。

すごく恥ずかしいけど……由真の日記、ほんの少しだけ見せちゃいます。うん。あなただけに、特別に…ね。じゃあ、見る前に指きり！　絶対に誰にもしゃべんないって約束して。お願い！

♪ゆ〜びき〜り　げ〜んま〜んっ！
ハイ、ど〜ぞっ。

## CHICKEN

[tʃikin]

知る人ぞ知る由真の大好物が、コレ。チキンって大大大好きっ。それも、から揚げ。から揚げだったら、毎日食べても飽きない！　それどころか、毎日食べてないとなーんかヘンな感じさえするの。それっくらい、好き。この病気は、もう子供のころからなのよね。好きな理由？　んー、どうしてだろ。わかんないなぁ。わかんないけど、理由ぬきで好き。とにかく、毎日何かしら食べてますねっ。ケンタッキーの前を素通りなんて、とんでもないっ！　すぐ寄っちゃうもん。お弁当選ぶ時も、もちろんから揚げ弁当ねっ。私のチキン好きを横でみているマネージャーさんは、

「そのうち鳥になって飛んでっても、オレは知らないからなっ」

なんてアキレた顔して言うけど、しょうがないですね、こればっかりは！　このエッセイ集の撮影の時も、食べましたョ。シャッター音も気にならないくらいの勢いで食べてるから、〝由真・チキンを食べる図〞チェックしといてネ。

そして、もうひとつの大好物が、なんと梅干し。小梅も好きだし、カリカリ梅もいいし、大っきくてしょっぱいのも好き！　お塩がうき出てるくらいのねっ。車のクーラーボックスに、いつも必ず入ってるの、梅干しは。毎日、絶対食べてるもん。朝食べると、スーッとして気持ちいいんだぁ。えっ？　すっぱくて口が曲がっちゃいそうじゃないかって？　う〜ん、そうですねぇ。さすがに一度に12個連続して食べた時は、まいりましたけどね〜。

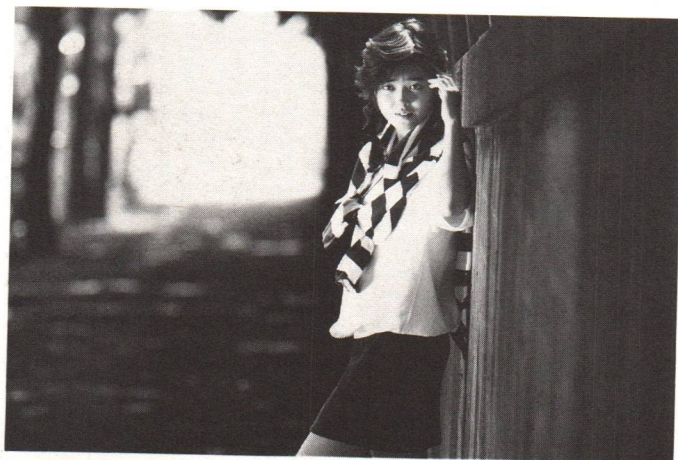
から揚げと梅干し。このふたつがあれば、私、生きていけると思うな、ホントに。でも、逆にこのふたつがないと、好き嫌いの激しい私は生きていけませんョ、はっきりいって！　結花ちゃんがね、偏食家の私をなんとか更正させようと努力してくれてるんだけど…結花には悪いけど、やっぱりダメ!!　嫌いな物多いんだもん、私って。まず、マッシュルーム、しいたけ、松たけのしいたけファミリーがダメでしょ、グリーンピース、カリフラワー、アスパラ、お豆腐、ナス、豚肉etc…、あ〜書いてくだけで、頭クラクラしちゃう…。

# BROTHER & SISTER

[brʌ́ðə and sista]

このへんで、中村家の兄弟構成をお話しますネ。えー、まず、長女・由真、17歳。とーっても明るくてしっかり者のお姉さんデス。ハイ、私のことですねぇ。で、2歳年下の妹、中村家の次女がいます。そして、将来の我が家をしょってたつ9歳年下の弟と、ニギヤカな3人兄弟！　まぁ、ニギヤカといっても、弟はまだ小学生だから、すごく可愛いのっ。やっぱり9歳も離れてると、ケンカすることもないでしょ？　それに、赤ちゃんのときからずーっとみてるんだもん。私、弟が生まれたときのこと、ちゃんと覚えてるョ。弟が生まれたァ！　って大喜びして病院に行ったら、未熟児でね、生きるか死ぬかって感じだったの。だから、〝あー、がんばって生きて欲しい！〟なんて、すごく思ったもん。それに、〝弟が出来たんだから、私しっかりしなくちゃ〟って思った。私、泣き虫だったからねぇ。お母さんのお手伝いしたり、おむつ替えたり、ミルク飲ませてあげたり…すごくがんばったんだぁ、お姉さんとして。だからかな、弟ってめちゃくちゃ可愛い！　お仕事始めてから、家では顔を合わす機会が少なくなったけど、朝、私がマネージャーさんの車で出かける時なんて、しっかり車の前で待っててくれたりするんだよー。ねっ、可愛いでしょう？　ウフフ。

そして、妹。うーん、やっぱり年が近いとケンカするよネ。あなたはそんなことありませんか？　うちは、とにかくスゴイ！　本当にちょっとしたことでケンカしちゃう。たとえば、チャンネル争いとかね～。もう、ちっちゃいころからそうだったナ。だって私、小学校のころ、妹とケンカして家を飛び出したことがあるもん。大泣きしながら近くの公園に行ってね、妹が追いかけて来てくれるかなぁって思っても、ぜんぜんだし…。暗くなりかけたころ、お母さんが迎えに来てくれて、ものすごく叱られたこと、覚えてる。〝お姉ちゃんなんだから、しっかりしなさい！〟って。長女は損だなって思ったけど、やっぱり妹も…ね。今でもよくケンカするけど……。

ゴメンねっ！　意地っ張りのお姉さんで!!

T》のコーナーでもきっとふれると思うから このくらいにして……っと。もう少しアルバムのお話を続けるネ！

タイトル名の『ゴールド・ラッシュ』、この意味、わかりますかぁ？ え、知らない？ エヘン、では由真センセイが特別に講義しましょう。よろしいですか？ ゴールド・ラッシュっていうのは、単語どーりたくさんの金を手にするために、金を求めていろんな人が集まってくるってこと。だから、10曲の歌を金にたとえて……その素敵な歌を目的にたくさんの人が私の歌を聴きに集まってくる！ どうですか？ わかりましたか？ なーんてねっ。でもね、ホントにそのぐらい素敵な曲が出来上がったと思うんだ。もう、タイトルにピッタリなくらいっ。

泣き虫な私（このお話も、あとのコーナー《RAIN DROPS》でします。お楽しみに～）にしては、今回珍しく泣かなかったし、山中湖にもレコーディングで行ったし。あっ、ウソウソ、1回だけ泣いたっ！ そうなんですよねぇ。"泣かないゾ"って誓ってたんだけど、『サラディアン・エイジ』って曲をレコーディングしてる時、泣いちゃったの。グスンッ。というのは、この曲の最後、すごく声をのばすところがあるんだけど、何回やってもダメ。途中で声がフラットしたり、音程が下がっちゃったり…。もう情けなくなって泣いちゃったの。負けずギライ涙っていうのかなぁ…、なんか悔しいのよね。自分に対して。結局、この曲は、何度か録り直していくうちに上手くうたいきれたんだけど…うん、やっぱり、大変だった一曲です。で、もうひとつ大変だったのが、B面のラストの曲『夜明けのナイーブ』バラードでね、すごくいい曲なの、これが。でも、いい曲ってホントに難しい！ 上手くうたいきれてるかなぁとか、この詞の意味がちゃんと伝わるかなぁ…なんてすっごく考えちゃう。

私、ドラマも好きだけど、やっぱり歌がいちばん好き。だから、思いっきり真剣になるの、アルバムやシングル作る時って。気合入っちゃうんだからぁ、ホントに。

P.S. 矢沢永吉さんのLPにも『ゴールド・ラッシュ』ってあるんだって。

## A COUSTIC RAIN

[əkú:stik-rein]

由真の好きなモノ、由真にとってフカ～ク関係のあるモノを、アルファベットのAからZまで、ズラリと並べてみよう！　と思ったわけですが、目次をみて、〝うんうん、なるほど〟とか〝あれっ？〟なんて不思議に思った人もいるんじゃないかなぁ…。私って、中村由真よりも、風間由真のイメージの方が強いものネ。この《DICTIONARY》で、ブラウン管の中の由真じゃなく、あなたの目の前でおしゃべりしてる由真を、感じて欲しいなっ。

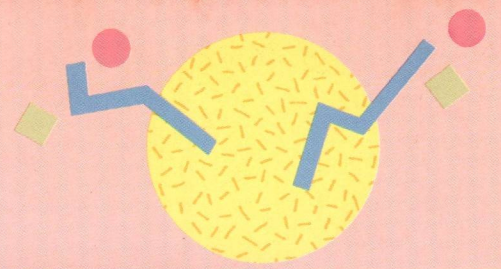
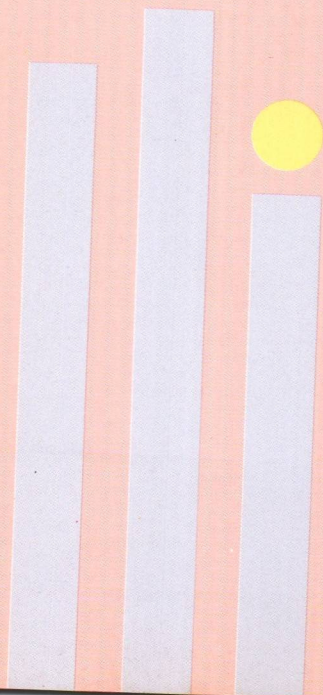
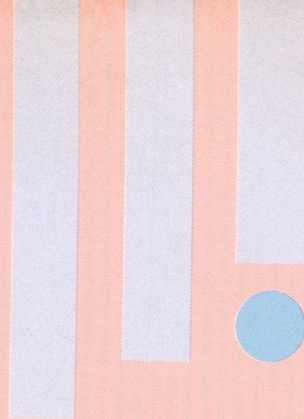
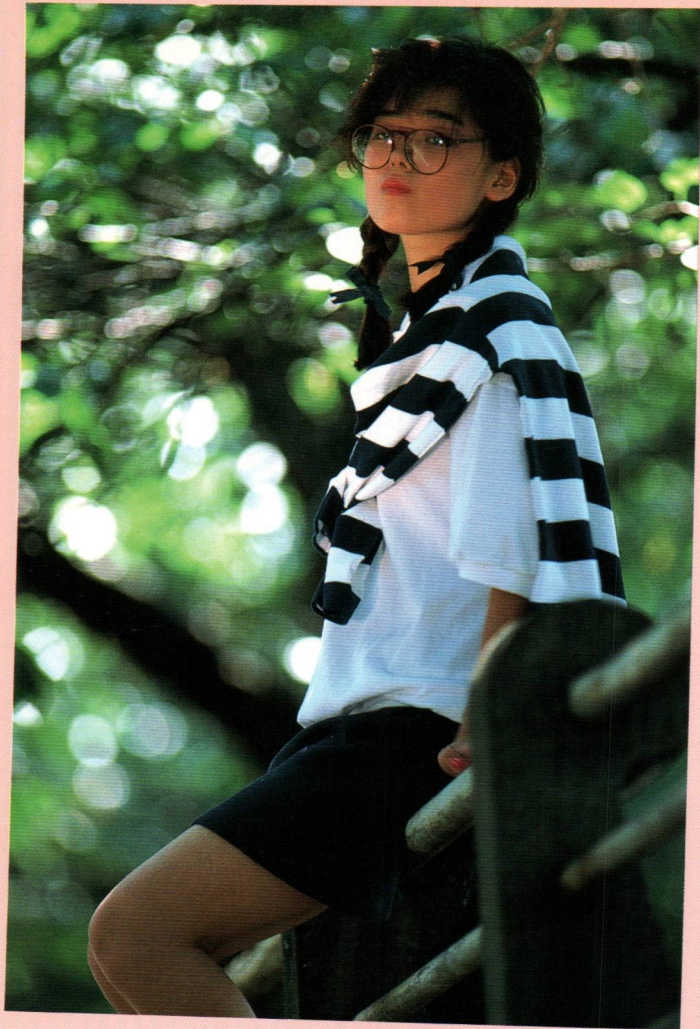
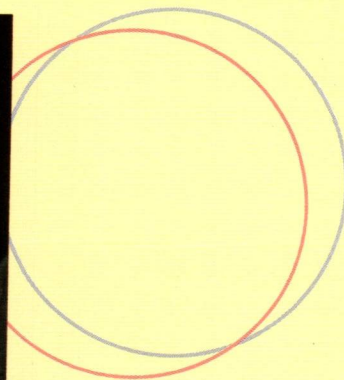
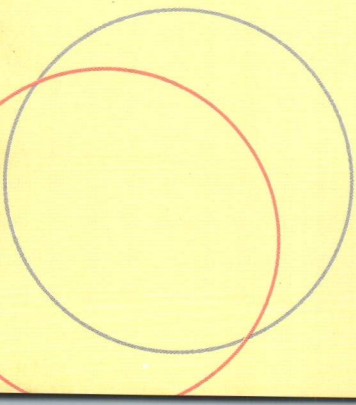
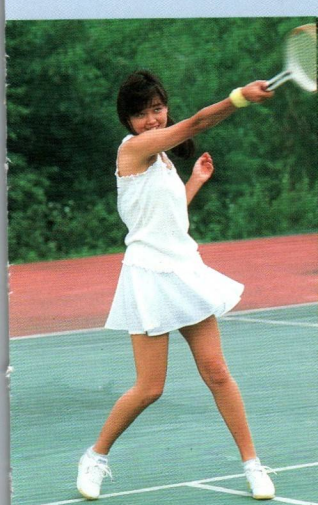
では、まずアルファベットの〝A〟から…。《アコースティック・レイン》ですっ。

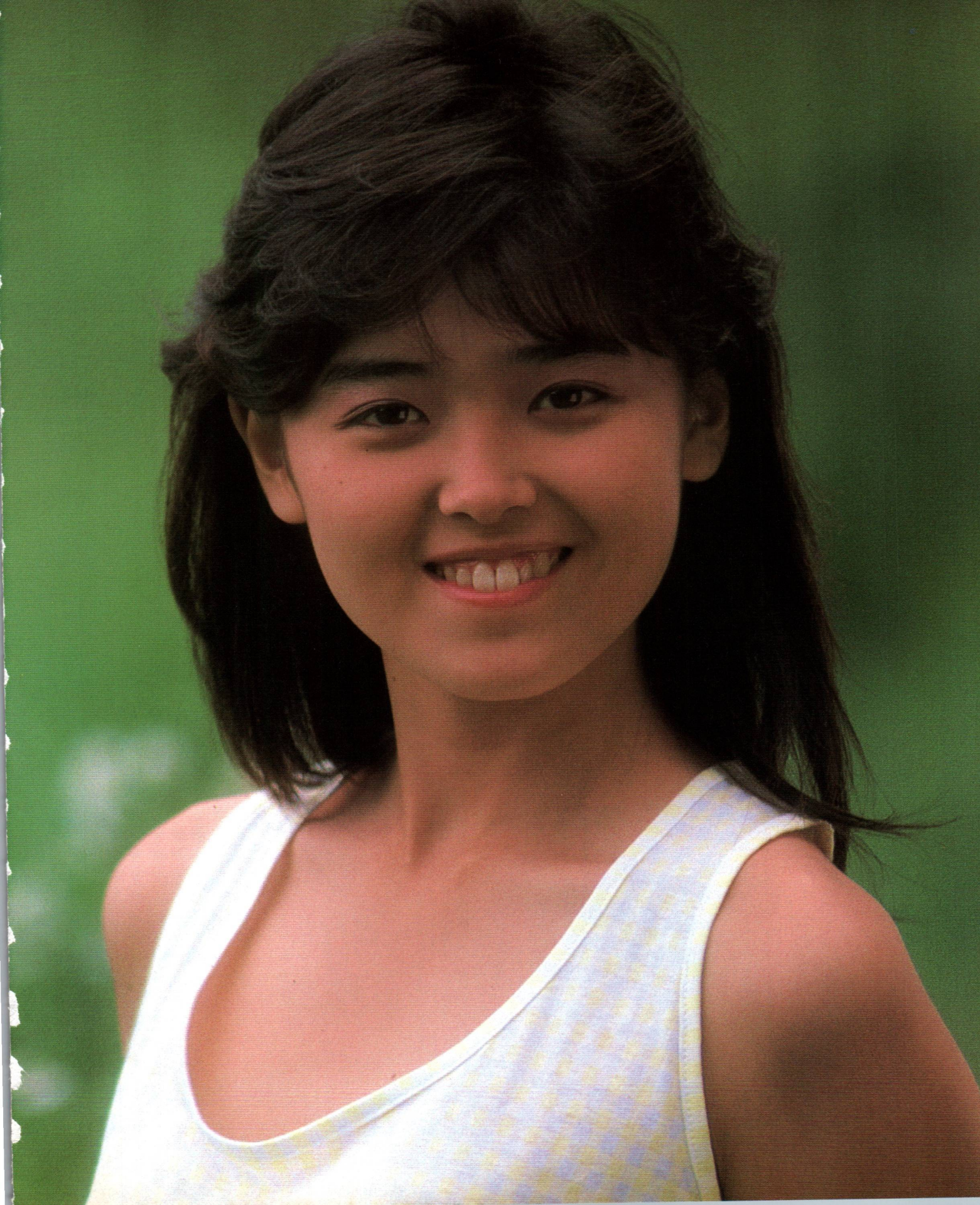
これは、実をいうと10月に発売する私の2枚目のアルバム『ゴールド・ラッシュ』に入っている曲のタイトル。アルバムのレコーディングも、とっても楽しかったし（と、いうよりも勉強になった！）、すごくいい曲ばかりだし、出来上がりも花丸付きの大満足♡　特に、この『アコースティック・レイン』は大好きな曲なの。これは、好きな人と別れちゃった女の子の気持ちをうたってるんだけど、詞がとーってもいい！　うん、最高。主人公の女の子は、別れてもまだその男の子のことが好きっていうか、未練があるのね。だから、雨の日になると、彼とのいろんな想い出が胸の中にこみあげてくるっていう、ちょっぴり切な気な歌なんだけど…。この歌をうたってるとき、想い出しちゃったのよね。私の初恋の人のこと。〝あ～、わかるなぁ。この気持ち〟なんて、すごく感情がこもっちゃった。なんだか懐かしかったんだよねぇ。

その人とは、両想いになったわけでもなんでもなかったんだけど……、ただ、雨が降る中を一緒にはしゃぎまわったことや、その時の私の〝好き！〟っていう想いが、オーバーラップしてくるの、この歌をうたうと…。だから、とっても素直な気持ちでレコーディングも出来た。私って、けっこうメロディやリズムよりも、詞の内容をぐーっと考えちゃうタイプだから、この曲はね、そんな意味からもお気に入りの一曲なの。……う～ん、でもなんだか照れるな、こんな話題って。エヘへ。初恋の人のことには、〝H〟の《HEART BEA

# YUMA DICTIONARY

## contents

OFFの日の午後、ひとり散歩に出かけて街にとけこむ、普段気がつかないいろんな事に出会えるから、好き。

視線感じて、
視線返して……

〝高原のペンションでテニス〟これ、女の子の〝夢〟なんです。

最近みんなから「オトナっぽくなったね」って言われるの。ホントかな?　よくわからない。単なるあいさつだったりして……ン!?

シンとした空気が好きよ。

林の中、

一本の細い道。

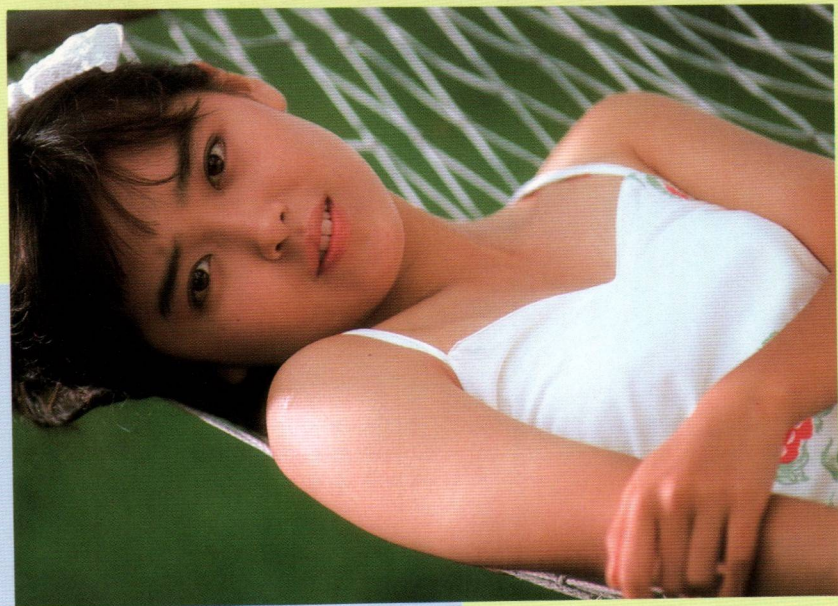
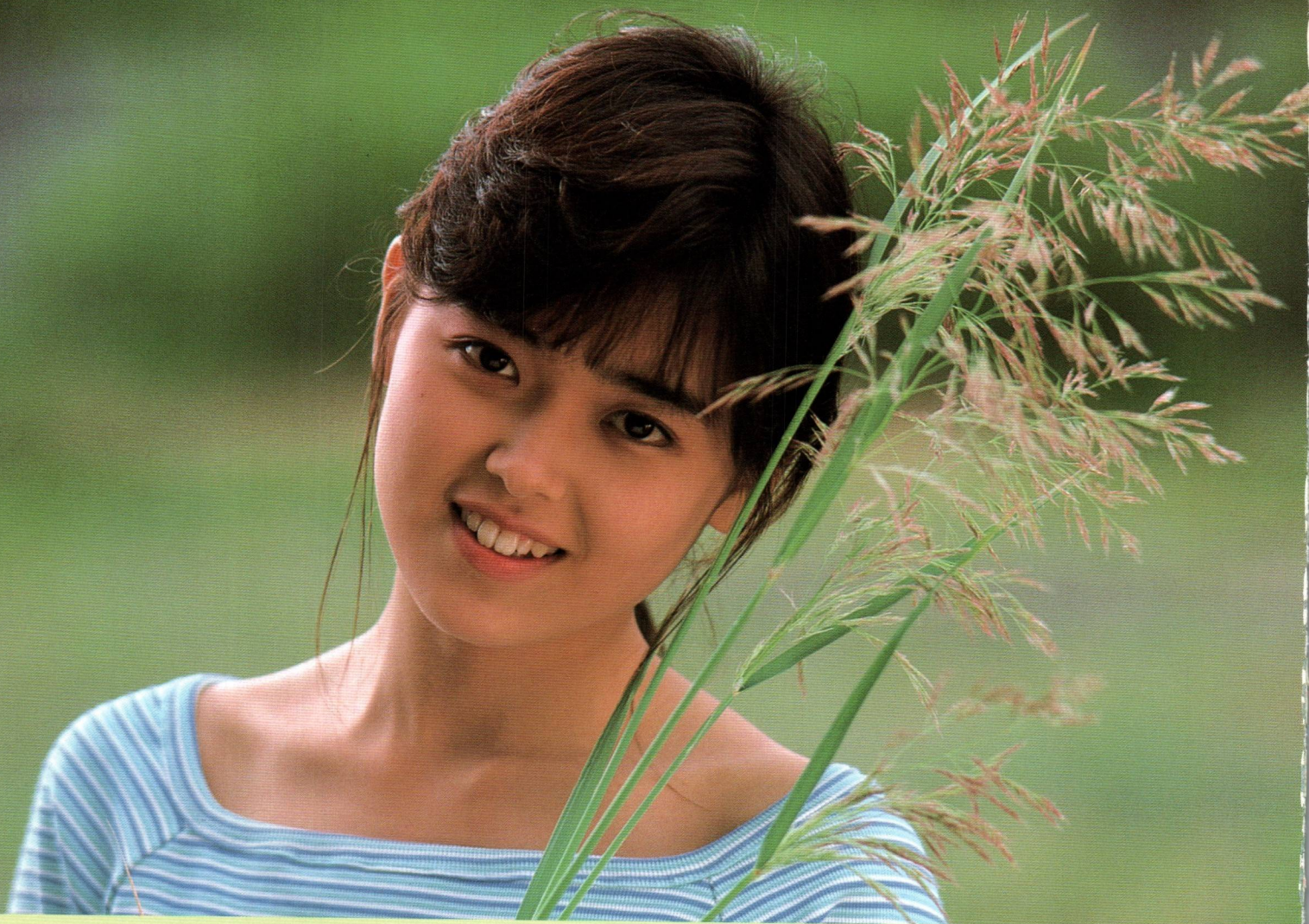
どこまでもどこまでも、ふたり寄りそって……

横顔がちょっとCOOL

勇気を出して、ほんの少し背のび。

あなたの顔、のぞき込んだら……

瞳にイノセント。

ねぇ、私だけの秘密にしてもいい？

あなた色の風、頬に感じたら
元気よく挨拶……できるかな。

自分の事、家族の事、友達の事、由真の心の中を全て書いちゃった……。照れるネ。

# YUMA DICTIONARY